



令和7年度

琉球大学

公開授業案内

＜前学期・後学期＞全78科目



# 琉球大学「公開授業」について

琉球大学では、生涯学習支援による人材育成・地域貢献を建学以来の使命と位置付けて様々な取り組みを行っています。

その一環として、本学学生が受講している正規の授業の一部を開放し、地域住民の皆さまに受講していただくための『公開授業』を平成14年度から実施しています。公開授業により、生涯学習に対する社会的要請に応え地域社会と大学との連携をより一層深めていくとともに、地域住民の方々と学生が共に学習することで、学生や教員にとってもよい刺激になり、授業の活性化につながることを期待されています。

また、公開授業のさらなる活性化を図るため、受講生の利便性を考慮し受講料の定額料金制度を導入しています。

この機会に、多くの方々が琉球大学に足を運ばれることを期待しています。

併せて、これまでも多くの方々に本学提供の公開授業を受講していただきましたが、平成25年度から、琉球大学サテライトキャンパスを県内6か所(※内1か所は令和2年3月に廃止)に設置し、サテライトキャンパスでのインターネットを活用した公開授業の配信を行い、島嶼地域の皆様をはじめ、多くの方々へ受講の機会を広げております。

ますます多くの方々が本学での生涯学習をお楽しみくださいますよう、また講師や他の参加者との有益なネットワークへの発展をお楽しみいただきますよう、願いを込めてご案内申し上げます。

琉球大学地域連携推進機構長

## 目次—CONTENTS—

### 琉球大学「公開授業」について

|                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 受講手続き            | 1  |
| 2. 受講に際して           | 3  |
| 3. サテライト配信について      | 5  |
| 4. 授業科目一覧           | 6  |
| 5. 各科目概要【前学期】       | 8  |
| 【後学期】               | 19 |
| 6. 令和6年度 年間行事予定表    | 32 |
| 7. 琉球大学キャンパスマップ     | 34 |
| 8. 令和6年度琉球大学公開授業申込書 | 35 |



# 1 受講手続き

【ステップ1】 公開授業申込み専用予約サイト( <https://erc11.u-ryukyu.narayun.jp/> ) に会員登録を行い、希望する科目の申込みを行う。

- ◇ 申込みを行うには会員登録が必須となります(登録費無料)。入力したメールアドレスに確認メールが届き、承認するアドレスをクリックすると登録完了です。
- ◇ 会員登録後、**申込み専用予約サイトから申込み**を行ってください。受付け後に申込完了メールが届きます。**原則、お電話によるお申込みは受け付けておりません。**インターネットが利用できない方は、末尾の申込書を直接窓口へお持ちいただくか、FAXまたは郵送にてご提出ください。

公開授業申込み専用予約サイト <https://erc11.u-ryukyu.narayun.jp/>

|                                      |                        |
|--------------------------------------|------------------------|
| <b>申込み期間(予定)</b><br>※ 定員に達し次第締め切ります。 | 前学期 3月19日(水) ~ 4月3日(木) |
|                                      | 後学期 9月2日(火) ~ 9月18日(木) |

【ステップ2】 申込みをした科目の初回開講日に実際に授業を聴講(試聴)し、受講するか決める。

- ◇ 授業内容の確認のため、初回に限り、授業を聴講(試聴)することができます。聴講後、受講を決定する場合は【ステップ3】にお進みください。申込をキャンセルする場合は、地域連携推進課(098-895-8019)までご連絡ください。  
なお、登録は本学の学生が優先となりますため、学生だけで教室収容人数を超える場合は受講できないことがあります。また、学生の受講登録の無い科目については、不開講といたします。

【ステップ3】 受講料を納付する。

- ◇ 受講料のお振込みをお願いします。なお、大学からは請求書の送付は行っていません。

| 受講料    |                 | 条件   |
|--------|-----------------|--|
| 単価料金   | 各科目の概要に記載しています。 | ◇1科目のみ受講する場合。  |
| 半期定額料金 | 9,000円          | ◇半期間(前期または後期)に、2科目以上を受講する場合。<br>※半期間に何科目受講しても9,000円です。                         |
| 通年定額料金 | 12,400円         | ◇通年で授業を2科目以上受講する場合。<br>◇前期と後期の科目を組み合わせ、2科目以上受講する場合。<br>※1年間に何科目受講しても12,400円です。 |

※振込手数料は、受講者負担となります。

- ◇ **受講料納入後は、科目変更や定額料金の変更、払戻しはできません。**
- ◇ 受講料にテキスト代等は含まれておりません。テキストが必要な場合は担当教員の指示に従ってご自身でご用意ください。大学生協で取り扱っている場合もあります。
- ◇ 振込み手数料は受講者負担となります。**また、保険への加入を必須とする公開授業が一部ございますが、保険料につきましては別途、受益者(受講者)負担となります。(保険料は受講料の中に含まれておりません。)**

|       |            |
|-------|------------|
| 振込先銀行 | 琉球銀行 宜野湾支店 |
| 口座番号  | 普通 0430384 |
| 口座名義  | 国立大学法人琉球大学 |

- ◇ 車で通学される方へは「入構許可証」を発行しますので、地域連携推進課へお申し出ください。(以前に発行された入構許可証をお持ちの方はご返却ください。)

## お問合せ先・公開授業担当窓口

■ 琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課 地域連携推進係  
〒903-0213 沖縄県西原町字千原1番地(大学本部棟1階)  
TEL:098-895-8019 FAX:098-895-8185

# 1

## Course Registration

**[STEP1]** Registration website for extension lectures open to the public (<https://ercll.u-ryukyu.narayun.jp/>)

\*Registration is required before applying for the courses of your choice.

- ◇ Registration is required (free of charge). You will receive a confirmation email to the email address you provide. Registration is completed after clicking on an email address that you wish to approve.
- ◇ Please **apply for the courses that you wish to take on the designated registration website** after registration. You will get a notice from the University after registration. **We do not accept applications by phone.** For those of you do not have any access to the internet, please either bring an application form attached to this guide, fax it, or mail it to us.

### Registration Website for Extension Lectures Open to the Public

<https://ercll.u-ryukyu.narayun.jp/>

|  |   |
|--|---|
| <b>Registration Period</b>                       | <b>First semester : March 21 (Fri) – April 4 (Fri)</b>          |
| <b>※Will be closed when capacity is reached.</b> | <b>Second semester : September 4 (Thu) - September 19 (Fri)</b> |

**[STEP2]** Audit the first day of a class/classes you applied

- ◇ You may listen to the class for the first time only to confirm the class content. If you decide to take the class after listening to the class, please proceed to Step 3.  
If you wish to cancel the class/classes after listening the first day of the class/classes, please be sure to contact the following office.  
【Contact】Email: [koukai@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:koukai@acs.u-ryukyu.ac.jp) TEL : 098-895-8019
- ◇ The university students have priority for class registration. If the number of students alone exceeds the classroom capacity, the course may not be available.  
Courses for which no students have registered will not be offered.

**[STEP3]** Pay the course fee

- ◇ Please make a payment of the course fee. Please also note that the university does not send an invoice.

| Course Fee  |  | Terms   |
|-------------|--|---|
| Per Class   | Stated in the list of subjects (pp.8 – 30) | ◇Take only one subject.   |
| Per Semeste | <b>9,000 Yen</b>                           | ◇ Take more than two subjects in one semester (either First semester or Second semester).<br>* It is 9,000yen no matter how many classes you take in one semester.                                    |
| Annual      | <b>12,400 Yen</b>                          | ◇Take more than two subjects annually.<br>◇Take two or more subjects by combing classes from First semester and Second semester.<br>*It is 12,400yen no matter how many classes you take in one year. |

※Bank transfer fees are the responsibility of the student.

- ◇ **Once the course fee has been paid, changes in subjects or course fee plan and refunds are not allowed.**
- ◇ Textbook fees and other materials are not included in the course fee. If textbooks are needed, please prepare them by yourself according to the course instructor's instructions. You may find them at the University CO-OP.
- ◇ Bank transfer fees are to be borne by the applicants.  
**Also, there are some classes require applicants to purchase insurance, and it is an applicant responsibility to obtain one. (Insurance fee is not included in the course fee.)**

|                           |   |
|---------------------------|---|
| University's Bank Account | 琉球銀行 (Bank of the Ryukyus) 宜野湾支店 (Ginowan Branch) |
| Account Number            | 普通 (Ordinary/Saving) 0430384                      |
| Account Holder's Name     | 国立大学法人琉球大学 (Kokuritsudaigakuhojinryukyudaigaku)   |

- ◇ Please let us know if you commute to the university by car. We will issue you a "parking permit." (For those of you have been issued with one before, please return it to us.)

## 2 受講に際して

### 授業について

- ◇ 授業は、週1回の計15回を基本としていますが、科目によって回数が異なる場合があります。
- ◇ **休業日、振替授業日等については、行事予定表(P32)をご確認ください。**
- ◇ 担当教員の都合により、休講や補講を行う場合があります。休講や補講の連絡については、各学部の掲示板等で周知しています。(教員によっては、メールやWebclass等で連絡する場合があります。)緊急の場合はできる限り電話等によりご連絡をいたしますが、行き届かない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ◇ 沖縄本島内に暴風警報又は暴風特別警報が発表されている間は、授業及び期末試験(以下「授業等」という。)を休講とします。暴風警報等の解除に伴う授業等の取扱いは次に掲げるとおりとします。
  - (1) 午前6時30分までに暴風警報等が解除された場合は、第1時限から授業等を行います。
  - (2) 午前11時までに暴風警報等が解除された場合は、第3時限から授業等を行います。
  - (3) 午後4時までに暴風警報等が解除された場合は、第6時限から授業等を行います。
  - (4) 午後4時までに暴風警報等が解除されない場合は、当日行われる予定の授業等は引き続き休講とし、期末試験を予備日に順延します。
- ◇ 公開授業は単位認定を行いませんので、原則としてレポートの提出やテスト、単位認定試験を受験する必要はありませんが、提出や受験を希望する方は担当教員とご相談ください。
- ◇ 単位認定を希望される方は「科目等履修生」制度をご利用ください。

### e-Learning (Web Class) を利用する科目について

- ◇ 科目によってはインターネットを通して資料や参考文献の紹介を行ったり、諸連絡や課題提出等を行う場合があります。別途手続きが必要となります。手続きは事務局で行います。

### シラバス検索について

- ◇ 科目によって、資料や休講等の連絡をシラバスに掲載する場合があります。シラバスは下記URLから確認ができます。検索画面の「講義名」に受講したい科目名を入力し検索ボタンをクリックしてください。
  - 琉球大学シラバス検索URL <https://tiglon.jim.u-ryukyu.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/>
- ◇ シラバス検索においては、下記の事項にご注意ください。
  - ・ 教員によってはシラバス登録をしていない科目があります。
  - ・ 後期開講の科目については、9月以降に掲載されます。
  - ・ **本システムによる講義要項などの内容について、無断転用を禁止します。**
  - ・ **科目一覧(P6～P7)にない科目については受講はできません。一覧にない科目について、シラバス検索により直接教員へ連絡をとることや受講のお問合せはご遠慮ください。**

### その他

- ◇ **受講にあたり、本学が行う教育及び研究に支障が及ぶことがないように努めていただくとともに、担当教員の指示に従ってください。**また、受講中は携帯電話の使用を控えてください。
- ◇ 受講生が、大学の秩序を乱したり受講生としてふさわしくない行為等を行った場合、受講を停止することがあります。受講が停止された場合であっても、受講料は返還できません。
- ◇ 来学中および授業中の受講生の呼び出しには対応できません。
- ◇ 駐車スペースに限りがありますので、可能な限り公共の交通機関等をご利用ください。なお、構内で事故や盗難が起きた場合、大学側は責任を負いかねますのでご了承ください。

### お問い合わせ先・公開授業担当窓口

**公開授業申込み専用予約サイト** <https://ercll.u-ryukyu.narayun.jp/>

■ 琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課  
地域連携推進係

〒903-0213 沖縄県西原町字千原1番地 (大学本部棟1階)  
TEL:098-895-8019 FAX:098-895-8185

### 個人情報の取り扱いについて

公開授業申込み等で取得した個人情報については、本学の個人情報管理規則に基づき適切に管理し、公開授業の運営及び公開授業に関する情報の送付以外の目的には使用いたしません。

## 2 When taking the course

### About Classes

- ◇ Classes are generally held once a week for a total of 15 sessions, but the number of sessions may vary depending on the subject.
- ◇ **Please check the Schedule of Events (p. 32) for information on holidays, substitute class days, etc.**
- ◇ Classes may be cancelled or made up at the convenience of the instructor. Notification of class cancellations and make-up classes is announced on the bulletin boards of each faculty. (Depending on faculty members, he/she may notify you via email.) In case of emergency, we will do our best to contact you by phone, but please understand that we may not be able to reach you
- ◇ Classes and final examinations (hereinafter referred to as "classes, etc.") will be cancelled when a storm warning (暴風警報) or special storm warning (暴風特別警報) is issued for Okinawa main island. Classes, etc., following the lifting of storm warnings, etc., will be handled as follows.
  - (1) If the storm warning is lifted by 6:30 a.m., classes, etc. will start from the first period.
  - (2) If the storm warning is lifted by 11:00 a.m., classes, etc. will be held from the 3rd period.
  - (3) If the storm warning is lifted by 4:00 p.m., classes, etc. will be held from the 6th period.
  - (4) If the storm warning is not lifted by 4:00 p.m., the classes, etc. scheduled for that day will be cancelled and the final examinations will be postponed to a substitution day.
- ◇ In principle, it is not necessary to submit reports, take tests or take credit examinations for the classes you take, but if you wish to do so, please consult with the instructor in charge.
- ◇ Those who wish to get credits for the classes you take, please apply for "Auditor" program.

### Classes that use e-Learning (WebClass)

- ◇ In some classes, materials and references may be introduced via the internet, and you may also be contacted and submit assignments via the internet. For e-Learning, procedures are required separately. Procedures will be handled by the office.

### Searching Syllabus

- ◇ Depending on the class, materials and class cancellations, etc. may be posted on the syllabus. Syllabus can be found at the following URL. Enter the name of the class you wish to take in the "Subject Title" field on the search screen and click the "Search" button.
  - The University Syllabus Search System URL <https://tiglon.jim.u-ryukyu.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/>
- ◇ Please note the following when searching the syllabus.
  - There may be some classes without syllabus.
  - Syllabus for classes offered in the Second semester will be posted on the system in September or later.
  - **Unauthorized use of the content of lecture information, etc. provided by the system is prohibited.**
  - **You cannot take classes that are not on the list of subjects (p.6-7). Please refrain from contacting faculty members directly through the syllabus search or inquiring about classes that are not on the list.**

### Others

- ◇ **Please do not interfere with the education and research conducted by the university and follow the instructions of the instructor in charge.** And please refrain from using cell phones during the course.
- ◇ Students may be suspended if they disrupt the orderly conduct of the university or behave in a manner unbecoming of a student. The course fee is non-refundable even if the student's enrollment is suspended.
- ◇ We do not respond to student calls during visits to the university or during classes.
- ◇ Parking spaces are limited. Please use public transportation, etc. as much as possible. Please note that the university will not take any responsibility for any accidents or thefts that occur on campus.

### Contact (Extension Lectures Open to the Public)

Registration Website for Extension Lectures Open to the Public <https://ercll.u-ryukyu.narayun.jp/>

■ Regional Collaboration Promotion Section,  
General Strategic Planning Division, University of the Ryukyus

〒903-0213 1 Senbaru, Nishihara-cho, Okinawa  
(1st floor, University Head Office Bldg. )  
TEL: 098-895-8019 FAX: 098-895-8185

### Handling of Personal Information

Personal information obtained through applications for open lectures will be properly managed in accordance with the University's personal information management rules and will not be used for any purpose other than the operation of open lectures and the sending of information related to them.

### 3 サテライト配信について

琉球大学では、平成25年度から、県内の島嶼部を含む複数の地域に琉球大学サテライトキャンパスを設置し、大学と地域がより結びついた学びのコミュニティとして、また、地域住民の学び直しの機会拡充として公開講座や公開授業、出前講座等を提供しております。

本サテライトキャンパスは、自治体の公民館等の施設の一部を無料で借用し、公開講座等を無料で提供することにより、地域住民の生涯学習の振興にも貢献しています。



■石垣キャンパス  
石垣市立図書館  
〒907-0013 石垣市浜崎町1番地の1



■久米島キャンパス  
具志川農村環境改善センター  
〒901-3124 久米島町字仲泊730番地



■宮古島キャンパス  
宮古島市未来創造センター  
〒906-0007 宮古島市平良東仲宗根807



■国頭キャンパス(配信なし)  
国頭村民ふれあいセンター  
〒905-1411 国頭村辺土名112



■那覇キャンパス  
那覇市牧志駅前ほしぞら公民館  
〒902-0067 那覇市安里2丁目1番地1号



#### 【サテライトティキャンパスに関するお問合せ】

国立大学法人琉球大学 地域連携推進課  
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
TEL:098-895-8019 / FAX:098-895-8185  
<https://erc11.u-ryukyu.narayun.jp/>

## 4

## 授業科目一覽

※公開授業の曜日、時限等については変更となる場合があります。

## &lt;前学期&gt;

| No. | 科目種別    | 開講学部        | 授業科目名                       | 学期  | 担当教員                 | 曜日時限             |    |
|-----|---------|-------------|-----------------------------|-----|----------------------|------------------|----|
| 1   | 共通教育科目  | 人文社会学部      | 人間と哲学の知                     | 前学期 | 久高 将晃                | 火2               |    |
| 2   | 共通教育科目  | 人文社会学部      | 人間観と教育                      | 前学期 | 寺石 悦章                | 月3               |    |
| 3   | 共通教育科目  | 国際地域創造学部    | 基礎フランス語I                    | 前学期 | デルバール・フランク、<br>宮里 厚子 | 火2、金2            | 週2 |
| 4   | 共通教育科目  | 国際地域創造学部    | 異文化コミュニケーション入門              | 前学期 | 高良 宣孝                | 水7               |    |
| 5   | 共通教育科目  | 教育学部        | 沖縄の基地と戦跡 I                  | 前学期 | 北上田 源                | 木5               |    |
| 6   | 共通教育科目  | 理学部         | 物理学入門 I                     | 前学期 | 安田 千寿                | 火2               |    |
| 7   | 共通教育科目  | 理学部         | 化学 I                        | 前学期 | 高良 聡                 | 木2               |    |
| 8   | 共通教育科目  | 理学部         | 人間と物理学                      | 前学期 | 與儀 護                 | 火4               |    |
| 9   | 共通教育科目  | グローバル教育支援機構 | 日本語教育各論 I                   | 前学期 | 名嶋 義直                | 木1               |    |
| 10  | 共通教育科目  | グローバル教育支援機構 | 日本語教材研究 I                   | 前学期 | 名嶋 義直                | 火1               |    |
| 11  | 共通教育科目  | 地域連携推進機構    | 琉大特色・地域創生特別講義Ⅹ<br>星空案内人養成講座 | 前学期 | 畑中 寛、松本 剛            | 土PM              |    |
| 12  | 専門科目    | 人文社会学部      | 共生哲学                        | 前学期 | 寺石 悦章                | 木3               |    |
| 13  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | マーケティング実践研究                 | 前学期 | 王 怡人                 | 木7               |    |
| 14  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | 広告論                         | 前学期 | 王 怡人                 | 火6               |    |
| 15  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | 英語研究Ⅲ                       | 前学期 | 宮平 勝行                | 火4               |    |
| 16  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | 経済学概論                       | 前学期 | 越野 泰成                | 木2               |    |
| 17  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | エコソリズム論・基礎                  | 前学期 | 大島 順子                | 木2               |    |
| 18  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | 社会科学のためのゲーム論入門              | 前学期 | 堀 勝彦                 | 水7               |    |
| 19  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | 英語学習論 I                     | 前学期 | 呉屋 英樹                | 月6               |    |
| 20  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | 地方財政論                       | 前学期 | 瀬口 浩一                | 木3               |    |
| 21  | 専門科目    | 教育学部        | 子ども教育開発演習 I                 | 前学期 | 西村 幸高                | 木5               |    |
| 22  | 専門科目    | 理学部         | 物理学概論                       | 前学期 | 前野 昌弘                | 木5               |    |
| 23  | 専門科目    | 理学部         | 物理化学Ⅱ                       | 前学期 | 漢那 洋子                | 火3               |    |
| 24  | 専門科目    | 農学部         | 土壌環境科学                      | 前学期 | 金城 和俊                | 金3               |    |
| 25  | 専門科目    | 農学部         | 森林微生物学                      | 前学期 | 亀山 統一                | 月3               |    |
| 26  | 専門科目    | 工学部         | 物理化学                        | 前学期 | 永島 浩樹                | 木3               |    |
| 27  | 専門科目    | グローバル教育支援機構 | 批判的談話研究特論A                  | 前学期 | 名嶋 義直                | 水3               |    |
| 28  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 日本語B1S                      | 前学期 | 渡真利 聖子 ほか            | 水2、金2            | 週2 |
| 29  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 日本語B2S                      | 前学期 | 新城 直樹                | 月1、木1            | 週2 |
| 30  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 漢字S                         | 前学期 | 新城 直樹                | 月4               |    |
| 31  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 会話A3S                       | 前学期 | 新城 直樹                | 月2               |    |
| 32  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 作文A3S                       | 前学期 | 新城 直樹                | 火4               |    |
| 33  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 聴読解A3S                      | 前学期 | 新城 直樹                | 木2               |    |
| 34  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 日本語A (Japanese A)           | 前学期 | 真島 知秀 ほか             | 月、火、木、<br>金1and2 | 週8 |
| 35  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 日本語A1 (Japanese A1)         | 前学期 | 真島 知秀 ほか             | 月3、火4、<br>水2、木3  | 週4 |
| 36  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 日本語A2 (Japanese A2)         | 前学期 | 真島 知秀 ほか             | 月1、火3、<br>水2、木3  | 週4 |
| 37  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 文法A2                        | 前学期 | 山元 淑乃                | 火2、木4            | Q1 |



<後学期>

| No. | 科目種別    | 開講学部        | 授業科目名                     | 学期  | 担当教員                | 曜日時限             |    |
|-----|---------|-------------|---------------------------|-----|---------------------|------------------|----|
| 38  | 共通教育科目  | 人文社会学部      | 宗教と世界                     | 後学期 | 寺石 悦章               | 月3               |    |
| 39  | 共通教育科目  | 人文社会学部      | 人間と宗教                     | 後学期 | 寺石 悦章               | 木3               |    |
| 40  | 共通教育科目  | 国際地域創造学部    | 基礎フランス語Ⅱ                  | 後学期 | デルバル・フランク、<br>宮里 厚子 | 火2、金2            | 週2 |
| 41  | 共通教育科目  | 国際地域創造学部    | ことばの構造と意味                 | 後学期 | 吉本 靖                | 木2               |    |
| 42  | 共通教育科目  | 国際地域創造学部    | 現代企業のしくみⅡ                 | 後学期 | 多賀 寿史               | 金5               |    |
| 43  | 共通教育科目  | 国際地域創造学部    | 環境と文学                     | 後学期 | 山城 新                | 火2               |    |
| 44  | 共通教育科目  | 国際地域創造学部    | アメリカの文学と近代社会              | 後学期 | 加瀬 保子               | 水2               |    |
| 45  | 共通教育科目  | 医学研究科       | ゲノム情報の生命科学と<br>データサイエンス入門 | 後学期 | 黒柳 秀人               | 金4               |    |
| 46  | 共通教育科目  | 理学部         | 物理学入門Ⅱ                    | 後学期 | 安田 千寿               | 火2               |    |
| 47  | 共通教育科目  | グローバル教育支援機構 | 大学教育論                     | 後学期 | 天野 智水               | 月2               |    |
| 48  | 共通教育科目  | グローバル教育支援機構 | 日本語教育各論Ⅱ                  | 後学期 | 名嶋 義直               | 木1               |    |
| 49  | 共通教育科目  | 地域連携推進機構    | 教育政策史                     | 後学期 | 柴田 聡史               | 火2               |    |
| 50  | 共通教育科目  | 地域連携推進機構    | キャリアデザインとジェンダー            | 後学期 | 畑中 寛                | 火6               |    |
| 51  | 専門科目    | 人文社会学部      | 人間の探究                     | 後学期 | 寺石 悦章               | 火4               |    |
| 52  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | マーケティング入門                 | 後学期 | 王 怡人                | 火6               |    |
| 53  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | 観光地における環境教育               | 後学期 | 大島 順子               | 金2               |    |
| 54  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | 英語の文構造                    | 後学期 | 刺田 昌信               | 木6               |    |
| 55  | 専門科目    | 国際地域創造学部    | 社会科学のためのゲーム論入門            | 後学期 | 堀 勝彦                | 水2               |    |
| 56  | 専門科目    | 教育学部        | 英米文化研究Ⅳ                   | 後学期 | 小林 正臣               | 月5               |    |
| 57  | 専門科目    | 理学部         | 化学統計熱力学                   | 後学期 | 玉城 喜章               | 火2               |    |
| 58  | 専門科目    | 理学部         | 物理化学Ⅳ                     | 後学期 | 漢那 洋子               | 火1               |    |
| 59  | 専門科目    | 理学部         | 熱帯生物学概論                   | 後学期 | 田中 厚子               | 火5               |    |
| 60  | 専門科目    | 工学部         | 確率及び統計                    | 後学期 | 小野 尋子               | 水8～10時           |    |
| 61  | 専門科目    | 農学部         | 食糧生産と環境                   | 後学期 | 鬼頭 誠                | 火2               |    |
| 62  | 専門科目    | 農学部         | 環境土壌学                     | 後学期 | 金城 和俊               | 金1               |    |
| 63  | 専門科目    | 農学部         | 森林保護学                     | 後学期 | 亀山 統一               | 木3               |    |
| 64  | 専門科目    | 地域連携推進機構    | 教育の社会史                    | 後学期 | 背戸 博史               | 火4               |    |
| 65  | 専門科目    | 島嶼地域科学研究所   | 環境経済学                     | 後学期 | 藤田 陽子               | 火6               |    |
| 66  | 専門科目    | グローバル教育支援機構 | 批判的談話研究特論B                | 後学期 | 名嶋 義直               | 水3               |    |
| 67  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 日本語B1F                    | 後学期 | 渡真利 聖子、ほか           | 水2、金2            | 週2 |
| 68  | 共通教育科目  | グローバル教育支援機構 | 日本語B2F                    | 後学期 | 新城 直樹               | 月1、木1            | 週2 |
| 69  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 会話A3F                     | 後学期 | 新城 直樹               | 月2               |    |
| 70  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 漢字F                       | 後学期 | 新城 直樹               | 月4               |    |
| 71  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 作文A3F                     | 後学期 | 新城 直樹               | 火4               |    |
| 72  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 聴読解A3F                    | 後学期 | 新城 直樹               | 木2               |    |
| 73  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 日本語A (Japanese A)         | 後学期 | 真島 知秀               | 月、火、木、金<br>1and2 | 週8 |
| 74  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 日本語A1 (Japanese A1)       | 後学期 | 真島 知秀               | 月3、火4、水2、<br>木3  | 週4 |
| 75  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 日本語A2 (Japanese A2)       | 後学期 | 真島 知秀               | 月1、火3、水2、<br>木3  | 週4 |
| 76  | 日本語学習科目 | グローバル教育支援機構 | 文法A2                      | 後学期 | 山元 淑乃               | 木4               |    |
| 77  | 大学院科目   | 保健学研究科      | 緩和ケア特論                    | 後学期 | 照屋 典子               | 木<br>5限後半～6限     |    |
| 78  | 大学院科目   | 保健学研究科      | 緩和ケア特別演習Ⅰ                 | 後学期 | 照屋 典子               | 木<br>6限後半～7限     |    |

## 【前学期】

| 1 人間と哲学の知  |                                  | 共通教育科目 |
|--|----------------------------------|--------|
| <p>■講義内容／本講義の目的は、人間と哲学の知との関係を、政治哲学の観点から理解することである。この目的のために、福祉の最大化、自由の尊重、美徳の涵養という正義への三つのアプローチを、教科書に沿って学ぶ。</p>  |                                  |        |
| ■担当教員／久高 将晃(人文社会学部 教授)   | ■初回授業日／4月15日                     |        |
| ■場所／共通教育棟2号館205教室  | ■曜日・時限／火曜日・2時限目(10:20～11:50)     |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                           |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールで行います。<br/>■備考／</p>   |                                  |        |
| 2 人間観と教育   |                                  | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／カプトムシやザリガニを育てるとすれば、まずはカプトムシやザリガニがどんな生き物かを知らなければなりません。しっかりした「カプトムシ観」「ザリガニ観」をもち、それに基づいた育て方(教育)をしなければなりません。人間は、カプトムシやザリガニよりもはるかに繊細な生き物ですから、「適当にやっておく」ということは許されません。人間観に基づいた教育をしなければならないのは当然のことでしょう。</p> <p>では現代日本の教育に、人間観は存在するのでしょうか？存在するとすれば、その人間観はどのようなものなのでしょうか？暗記させられるばかりで、興味がもてないどころか、そもそも何に役立つのかもさっぱりわからないような知識をひたすら詰め込まれる授業。何のためにやっているのかもわからず、毎日ただ機械的に出され続ける宿題。そんなものであっても、ただ黙々とこなすような人間を想定しているのだとすれば、その人間観は明らかに間違っています。(誰だってわかりますよね。)相手が「人間」であることを考えれば、授業は面白くなければ(興味をもてるものでなければ)ならないはず。宿題すら面白くないもの(少なくとも生徒が納得できるもの)でなければならないはず。</p> <p>「それは理想だけど……そんな教育があるわけない」と皆さんは思うでしょう。確かに、誰にとっても毎日が面白くてたまらない教育というのは夢なのかもしれません。しかし現代日本の教育と比べれば、はるかにそれに近い教育はあるのです。そして実際にそんな教育が行われているのです。</p> <p>この授業では、ルドルフ・シュタイナーによって提唱されたシュタイナー教育(ヴァルドルフ教育)を紹介します。シュタイナー教育を実践するシュタイナー学校は世界で1000校を超え、世界中で高い評価を得ています。</p> |                                  |        |
| ■担当教員／寺石 悦章(人文社会学部 教授)   | ■初回授業日／4月14日                     |        |
| ■場所／共通教育棟2号館305教室  | ■曜日・時限／月曜日・3時限目(12:50～14:20)     |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                           |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールで行います。<br/>■備考／教科書は琉球大学の生協で購入して下さい。</p>   |                                  |        |
| 3 基礎フランス語 I  |                                  | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／フランス語会話の基礎と実践(語彙・文法・日常文化など)</p>   |                                  |        |
| ■担当教員／デルパール・フランク(国際地域創造学部 准教授)・宮里厚子(国際地域創造学部 教授)   | ■初回授業日／4月11日                     |        |
| ■場所／(火曜)共通教育棟3号館405教室<br>(金曜)共通教育棟3号館301教室   | ■曜日・時限／火曜日・金曜日・2時限目(10:20～11:50) |        |
| ■受講料(単価料金)／9,000円  | ■定員／5名                           |        |
| <p>■受講者への連絡方法／frankdb@grs.u-ryukyu.ac.jp<br/>■備考／フランス語を勉強したことのない方、学んだことはあるがもう一度ゼロから復習していきたい方のための授業です。</p>  |                                  |        |

## 【前学期】

| 4 異文化コミュニケーション入門   |                              | 共通教育科目 |
|--|------------------------------|--------|
| ■講義内容／この授業では、異文化コミュニケーションに関して、言語的・文化的側面から学び、異文化とは何か、異文化理解とは何か、異文化間でのコミュニケーションを行なう際に重要なことは何か、を学びます。   |                              |        |
| ■担当教員／高良 宣孝(国際地域創造学部 准教授)  | ■初回授業日／4月16日                 |        |
| ■場所／共通教育棟2号館100教室  | ■曜日・時限／水曜日・7時限目(19:40～21:10) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名程度                     |        |
| ■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールやWebClassにて行う<br>■備考／  |                              |        |
| 5 沖縄の基地と戦跡 I   |                              | 共通教育科目 |
| ■講義内容／(予定・変更の可能性あり)<br>本講義で扱う内容は沖縄戦や戦後/現在の基地をめぐる問題です。ただ、それらを時系列で紹介していく講義ではありません。沖縄戦～現在の基地をめぐる問題について具体的な視点から学ぶことを通して、それぞれの時代の特徴について理解するとともに、時期区分を超える包括的な視点から本質的な問題を捉えられるようにすることを目指します。今年度計画している4つの視点とその特徴は次の通りです。<br>・琉大敷地内の沖縄戦/戦後(2回)・・・皆さんが学ぶ琉球大学の「敷地」に焦点を当て、そこで過去に何があったのかを学びます。<br>・沖縄戦における住民動員(4回)・・・沖縄戦の住民動員の諸形態とそのプロセスに焦点を当て、沖縄県民が犠牲になった要因の一端について考えます。<br>・戦争/軍隊と「補償」(4回)・・・沖縄戦と基地問題に通底する「補償」の問題に着目し、国家/軍隊と民間人・住民の関係について考えます。<br>・「民意」と基地(4回)・・・基地問題を考える上で「民意」をどう捉えれば良いのか、さらには「民意」で基地を動かすことができるのかを考えます。 |                              |        |
| ■担当教員／北上田 源(教育学部 准教授)  | ■初回授業日／4月17日                 |        |
| ■場所／共通教育棟2号館205教室  | ■曜日・時限／木曜日5限目(16:20～17:50)   |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／10名                      |        |
| ■受講者への連絡方法／メールにて<br>■備考／   |                              |        |
| 6 物理学入門 I  |                              | 共通教育科目 |
| ■講義内容／「物はどのように落下するのか」、「ボールをより遠くに投げる方法とは」、「磁石は何故落ちないのか」、「バスの急停車でバランスを崩すのはなぜか」、「月はどのように地球のまわりをまわっているのか」、「フィギュアスケートでは運動量保存則を利用している」など、身の回りでふつうに起こっている現象を力学の法則から論理的に理解する方法を解説します。受講者が高校の物理を履修していないことを考慮に入れ、グラフや図を多用して力学の基礎的事項から解説します。  |                              |        |
| ■担当教員／安田 千寿(理学部 教授)  | ■初回授業日／4月15日                 |        |
| ■場所／共通教育棟2号館101教室  | ■曜日・時限／火曜日・2時限目(10:20～11:50) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                       |        |
| ■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はWebClassやEメールで行います。<br>■備考／・対面講義が困難な場合、WebClassとZoomを用いた遠隔講義を実施します。<br>・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。  |                              |        |

## 【前学期】

| 7 化学Ⅰ   |                              | 共通教育科目 |
|---|------------------------------|--------|
| <p>■講義内容／高校までに学んだ化学の知識はかなり膨大であるが、その知識はともすれば、個別的・各論的なので、化学現象に普遍的な原理に基づいてこれらの知識を考察すれば、そのバラバラの知識を整理統合しより理解を深めることができる。「化学Ⅰ」および「化学Ⅱ」の講義を通して、高校で学んだ化学の内容がより統一的、普遍的に理解できることを示す。</p> <p>化学反応とエネルギー（2回）<br/>           原子の電子構造（3回）<br/>           周期表（2回）<br/>           化学結合Ⅰ：共有結合、イオン結合（4回）<br/>           化学結合Ⅱ：分子の構造と原子軌道の混成(有機化学の基礎を含む)（4回）</p> |                              |        |
| ■担当教員／高良 聡(理学部 准教授)   | ■初回授業日／4月17日                 |        |
| ■場所／理系複合棟102教室  | ■曜日・時限／木曜日・2時限目(10:20～11:50) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／10名                      |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講等の連絡は、WebClassまたはe-mailで行うか、講義時間中に行います。</p> <p>■備考／</p>   |                              |        |
| 8 人間と物理学  |                              | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／この講義では物理学の発展の歴史と現代社会の関わり合いについて講義を行う。それに加えて、様々な電磁波(電波、可視光線、X線など)の性質とその応用例について、物理学と現代エレクトロニクスの関連などについても概説する。</p>   |                              |        |
| ■担当教員／與儀 護(理学部 教授)  | ■初回授業日／4月15日                 |        |
| ■場所／共通教育棟2号館 201教室  | ■曜日・時限／火曜日・4時限目(14:40～16:10) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／5名                       |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はWebClassやEメールにて行う。</p> <p>■備考／基本的に対面講義ですが、それが難しい状況になった場合、ZOOMを用いた遠隔講義を実施します。</p>   |                              |        |
| 9 日本語教育各論Ⅰ  |                              | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／会話分析を行いながら日本語教育、特に会話教育について考える。</p>   |                              |        |
| ■担当教員／名嶋 義直(国際教育センター 教授)  | ■初回授業日／4月17日                 |        |
| ■場所／地域国際学習センター203教室<br>Zoom動画配信   | ■曜日・時限／木曜日・1時限目(8:30～10:00)  |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／5～10名                    |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。</p> <p>■備考／受講を歓迎します。ご登録をお待ちしています。</p>  |                              |        |
| 10 日本語教材研究Ⅰ   |                              | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／現代日本語の文法について考える(教科書必要)</p>   |                              |        |
| ■担当教員／名嶋 義直(国際教育センター 教授)  | ■初回授業日／4月15日                 |        |
| ■場所／地域国際学習センター203教室<br>Zoom動画配信   | ■曜日・時限／火曜日・1時限目(8:30～10:00)  |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／5～10名                    |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。</p> <p>■備考／受講を歓迎します。ご登録をお待ちしています。</p>  |                              |        |

## 【前学期】

# 11 琉大特色・地域創生特別講義Ⅹ (星空案内人養成講座)

共通教育科目

### ■講義内容／

第1回 4月12日(土)13:00～13:50(日本標準時、UTC+9h)  
開講式、アイスブレイク、オリエンテーション

第2回 4月12日(土)14:00～17:00(日本標準時、UTC+9h)  
講義科目「さあ、はじめよう」  
星空の基礎知識、星空を案内するための心構えなど。  
※終了後、単位認定試験。

第3回 4月19日(土)14:00～16:00(日本標準時、UTC+9h)  
講義科目「望遠鏡のしくみ」  
屈折望遠鏡、反射望遠鏡の原理、仕組み、操作方法について学ぶ。  
※終了後、単位認定試験。

第4回以降はシラバス参照のこと。

毎回、授業時間が異なるため、注意すること。

本学の職員採用試験の予備日(台風襲来等による)の変更があった場合は、この授業の日程の変更があり得る。その際は判明次第、履修登録者にメールで通知する。

■担当教員／畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)、  
松本 剛(非常勤講師)

■初回授業日／4月12日

■場所／共通教育棟1号館118教室

■曜日・時限／土曜日 午後・夕方 2～4時間  
※シラバスを参照のこと。

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／10名

■受講者への連絡方法／受講登録者各位の指定メールアドレス宛、連絡を行う。

■備考／ 星空案内人は宇宙・天文に関して研究者と市民をつなぐサイエンスコミュニケーターに当たり、公開天文台や科学館などでの星空ガイドのボランティア、学校や公民館での星空教室や観望会などのインストラクターなどの活動の場がある。

日本全国で満天の星空を望むことのできる地域は数あれど、日本の最南端に位置する沖縄では、我が国の中で1年を通して最も多くの星を観察することができ、南天の星空は貴重な財産である。特に、街の灯の少ない本島北部域や離島地域では、南天のしかも満天の星空を鑑賞することができ、地域の人や小中高生を対象とした星空教室を通して、地域の魅力を知ってもらうことによって、地域への愛着、地域の活性化を促進することが期待される。星空案内人は、特に沖縄にあってはこのように、地域づくりにとって有用な人材となり得る。

また、この講座では、「資格取得が目的ではないが星や宇宙について勉強してみたい」という人にも、門戸を開いている。ある程度講座を受講して、星空案内ができる自信がついたところで、資格取得に挑戦してもよい。

## 12 共生哲学

専門科目

■講義内容／ 自由・平等・友愛(博愛)という近代社会の理想があります。(フランス革命のスローガンとして有名ですね。)この理想に正面から反対する人は、おそらくいないのではないのでしょうか。

だとすれば、ここで大きな疑問が生じます。誰もが賛成するこの理想が、なぜ実現されていないのでしょうか。それは「実現されていない」のではなく、「実現できない」のです。意外に思われるでしょうが、自由・平等・友愛という理想は、相互に矛盾します。1つを実現しようとするれば、他の2つの実現が困難になってしまうのです。

この3つの理想を同時に実現するための提案が、この授業で取り上げる社会有機体三分節化という社会改革案です。この授業では、画期的であると同時に非常にユニークな、この社会改革案を中心に学んでいきます。

■担当教員／寺石 悦章(人文社会学部 教授)

■初回授業日／4月17日

■場所／人文社会学部 文系講義棟215教室

■曜日・時限／木曜日・3時限目(12:50～14:20)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／5名以内

■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。

■備考／教科書は琉球大学の生協で購入して下さい。

## 【前学期】

### 13 マーケティング実践研究

専門科目

■講義内容／この講義では、ケーススタディを通じて、デジタル時代における企業のマーケティング戦略について勉強します。企業のデジタル・マーケティング戦略を検討する際、マーケティング活動の基本概念(4P's mixes)、ビジネスモデルやマネジメントといったものと関連しますので、他の授業で学んだ知識がここで融合されます。受講者は教科書に記載されている事例を予習した上、ディスカッションポイントについて講義のディスカッション時間内でグループで議論し、自分なりの結論を見出すことを目指します。

■担当教員／王 怡人(国際地域創造学部 教授)

■初回授業日／4月17日

■場所／国際地域創造学部 文系講義棟103教室

■曜日・時限／木曜日・7時限目(19:40～21:10)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／WebClassでの掲示か、E-mailにて連絡する。

■備考／感染拡大防止措置を実施した上で対面講義を実施しますので、出席出来るように時間を調整してください。

### 14 広告論

専門科目

■講義内容／この講義の主題は、広告宣伝に関連する諸概念の紹介と企画・制作の体験です。企業が製品やサービスを円滑に市場で展開していくために、まず商品の存在や提供する便益を広く消費者に知らせなければなりません。それらの情報を消費者に提供するのには広告宣伝の主な内容です。しかし、ストレートな情報内容は、場合によって消費者に説得力を持たないかもしれません。それは競合企業が発信した情報と相殺したり、商品に対する消費者「関与度」が低かったりすることと関係するからです。この講義の前半では、広告宣伝に関する理論的側面を順次に取り上げて解説していきます。そして、広告宣伝に対する理解を踏まえて、講義の後半では実際の提案練習を行ってまいります。

■担当教員／王 怡人(国際地域創造学部 教授)

■初回授業日／4月15日

■場所／文系講義棟102教室

■曜日・時限／火曜日・6時限目(18:00～19:30)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／E-mailにて連絡します。

■備考／感染拡大防止措置を実施した上で対面講義を実施しますので、出席出来るよう時間を調整してください。

### 15 英語研究Ⅲ

専門科目

■講義内容／本講義では語用論、談話研究、社会言語学、(異文化)コミュニケーションなど、人と人のコミュニケーション行為を考察し、その理論を学びます。人々の生活の隅々まで浸透するコミュニケーション行為に関する理論を体系的に学ぶことによって、ことばとコミュニケーションの研究意義や背景、中心的概念、特徴、研究方法などを学び、外国語教育や異文化交流などの実生活でコミュニケーションの理論がどのように活用できるかを考察します。(新型コロナウイルスの感染状況によってはMicrosoft Teamsを使った遠隔授業になることがあります。)

■担当教員／宮平 勝行(国際地域創造学部 教授)

■初回授業日／4月15日

■場所／共通教育棟3号館104室

■曜日・時限／火曜日・4時限目(14:40～16:10)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／休講時や課題などの連絡はTeamsもしくはEメールで行う。

■備考／英語の教材を使用します。

### 16 経済学概論

専門科目

■講義内容／「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」の基礎的な内容を通して新聞やテレビでの経済ニュースや日常生活、社会現象についてケース・スタディを使いながら経済学的に理解することを授業の達成目標としています。

■担当教員／越野 泰成(国際地域創造学部 教授)

■初回授業日／4月17日

■場所／文系講義棟215教室

■曜日・時限／木曜日・2時限目(10:20～11:50)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／10名

■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はWebclassにて行います(事前に登録をします)。

■備考／講義開始時の状況次第では、Teamsによる同時双方向性の講義になることもあります。

## 【前学期】

### 17 エコツーリズム論・基礎

専門科目

■講義内容／1970年代以降の国際的な観光産業の成長から、それまでの大規模な観光開発や大量輸送、大量消費を象徴するかのようなマス・ツーリズムを補完するかのごとく、1980年代後半から世界各地で取り組みが始まったエコツーリズムを取り巻く現状には複雑なものがあります。

この授業では、エコツーリズムの発生経緯から展開の矛盾にいたるまでの諸問題を扱いながら、エコツーリズムの現状（エコツアーの実際、エコツーリズムの多様な展開等）や問題点、今後の課題について学びます。その中で、エコツーリズムにおける地域資源の考え方、資源の保全（資源の維持と形成、モニタリング調査や管理の方法）と適正な継承の仕方、資源利用の問題点、エコツーリズムが地域で果たす役割と可能性（地域住民の主体性や地域活性化の考え方）について、そして環境共生型社会を目指す昨今におけるエコツーリズムのこれからを国内外の事例に基づいて考察していきます。また、私たちの喫緊の課題である気候変動問題の適応及び緩和の方策としてエコツーリズムがどのように貢献できるのか、SDGs（持続可能な開発目標）との関連性から理解を深めます。

授業はエコツーリズムの基本的知識を深めるために、原点となる英文の文献やエコツーリズムに関する多角的な文献を読み、エコツーリズムについての本質的な理解を促します。そして、国際的な視野にたつてエコツーリズムの可能性を探っていきます。また、授業では映像やパンフレット、新聞や雑誌記事などを多用し、講義やグループディスカッション、グループワークとその発表など、学生が主体的に関わり、対話的な要素があり、深い学びを追求するアクティブラーニングで展開されます。当授業では、総合情報処理センターのweb classを活用し、リーディング（資料）やStudy Guide（復習や予習の手引き）の配信を行います。

■担当教員／大島 順子（国際地域創造学部 准教授）

■初回授業日／4月17日

■場所／文系講義棟103教室

■曜日・時限／木曜日・2時限目（10:20～11:50）

■受講料（単価料金）／6,300円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／授業資料や課題の配布等の連絡はweb classを中心に行うが、急な休講の連絡などは個別にEメールにて行います。

■備考／エコツーリズムの登場から現在にいたる観光現象を通して沖縄のみならず国内外の事例から学びます。楽しみにしてください。最新の情報については、シラバスをご確認ください。

### 18 社会科学のためのゲーム論入門

専門科目

■講義内容／ゲーム理論は複数の人々が意思決定に関して相互作用する状況を分析する理論で、様々な分野で有用な思考ツールとして定着しています。本講義はゲーム理論の基礎と現実社会で生じる状況の分析について学びます。

■担当教員／堀 勝彦（国際地域創造学部 准教授）

■初回授業日／4月16日

■場所／文系学部棟114教室

■曜日・時限／水曜日・7時限目（19:40～21:10）

■受講料（単価料金）／6,300円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／課題等の連絡はWebClassにて行う。

■備考／講義資料はWebClassに掲示しますので、講義中はノートPCやタブレットで閲覧いただくか、印刷の上ご持参ください。

### 19 英語学習論 I

専門科目

■講義内容／この講義は、第2外国語としての英語の学習と指導に役立つよう、コーパス言語学について探求する機会を提供し、学生自身がコーパスを活用して研究、指導、学習を行えるように設計されています。講義全体を通して、英語の文法と語彙の教育と学習に関する研究成果を検討します。講義中では、事前にテキストの要約や感想をまとめ、セッション中に教員や学生同士で質問を共有し理解の深化に努めてもらいます。課題として学生はグループで選択したトピックについて2つのコーパス調査を行い発表します。

■担当教員／呉屋 英樹（国際地域創造学部 教授）

■初回授業日／4月14日

■場所／共通教育棟3号館305教室

■曜日・時限／月曜日・6時限目（18:00～19:30）

■受講料（単価料金）／6,300円

■定員／5～10名

■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はTeamsとWebclassより行う

■備考／講義中に演習活動を行いますので、ノートパソコンやタブレット、スマホ等をお持ちください。

## 【前学期】

| 20 地方財政論   |  | 専門科目 |
|--|--|------|
| <p>■講義内容／少子・高齢化や大都市圏への人口集中などで、住民人口が持続的に減少し始める自治体が増えています。その一方で、社会資本の老朽化や社会保障・社会福祉の分野を中心に財政支出は急増するなど、自治体財政を巡る状況は厳しさを増しています。自治体も経営センスを磨かなければいけない時代に何が必要か、地方財政が抱える様々な問題を通して考えます。</p> |  |      |
| ■担当教員／瀬口 浩一（国際地域創造学部 教授）   | ■初回授業日／4月17日   |      |
| ■場所／文系講義棟114教室   | ■曜日・時限／木曜日・3時限目（12:50～14:20）                               |      |
| ■受講料（単価料金）／6,300円  | ■定員／5名   |      |
| <p>■受講者への連絡方法／WebClassを通して行う。場合によっては、メールで行うことも可能。<br/>           ■備考／WebClassを通して、資料配布や連絡を行います。</p>  |  |      |
| 21 子ども教育開発演習Ⅰ  |  | 専門科目 |
| <p>■講義内容／音楽を通じた全体の研究を知る中で、文献を読み込み、考察する力を身につけます。</p>  |  |      |
| ■担当教員／西村 幸高（教育学部 准教授）  | ■初回授業日／4月24日   |      |
| ■場所／教育学部棟  | ■曜日・時限／木曜日・5時限目（16:20～17:50）<br><b>※初回から3回のみを公開授業とします。</b> |      |
| ■受講料（単価料金）／6,300円  | ■定員／5名   |      |
| <p>■受講者への連絡方法／課題等の連絡はEメールで行う。<br/>           ■備考／「音楽」が誕生した秘話や音楽を学校教育で学んでいく理由について、簡単に楽しく解説していきます。<br/> <b>※初回から3回のみを公開授業とします。</b></p>   |  |      |
| 22 物理学概論   |  | 専門科目 |
| <p>■講義内容／教員免許取得希望者を対象に、物理学全般について概説し、物理を教えるための知識と技術を習得するための授業である。他人に教えるためには、まず自分が物理学の概念をしっかりと理解しておかなくてはならない。物理法則の意味と内容をちゃんと説明できるように理解していく。</p>                                    |  |      |
| ■担当教員／前野 昌弘（理学部 准教授）   | ■初回授業日／4月17日   |      |
| ■場所／理学部C114  | ■曜日・時限／木曜日・5時限目（16:20～17:50）                               |      |
| ■受講料（単価料金）／6,300円  | ■定員／5名   |      |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。講義録URLも参照すること。<br/>           ■備考／</p>   |  |      |
| 23 物理化学Ⅱ   |  | 専門科目 |
| <p>■講義内容／本科目は、大学の学部化学専攻学生向けの物理化学の講義です。化学平衡や相平衡、溶液など化学が対象とする系を物理学の一分野である熱力学に基づいて理解するため、化学熱力学の基本事項やその適用等を概説します。</p>  |  |      |
| ■担当教員／漢那 洋子（理学部 准教授）   | ■初回授業日／4月15日   |      |
| ■場所／理系複合棟202教室   | ■曜日・時限／火曜日・3時限目（12:50～14:20）                               |      |
| ■受講料（単価料金）／6,300円  | ■定員／5名   |      |
| <p>■受講者への連絡方法／休講等の連絡は、e-mailで行うか、講義時間中に行います。<br/>           ■備考／</p>   |  |      |



## 【前学期】

| 24 土壌環境科学   |                              | 専門科目 |
|---|------------------------------|------|
| <b>■講義内容</b> ／農業や環境における基盤は土壌である。農耕地や森林における物質生産および物質循環に関わる土壌について講義を行い、生態環境における土壌の役割について基礎的な知識を習得する。またこれらの内容を踏まえて、現実的どのように応用されているかを考える。土壌分野の最新の情報を概説する。   |                              |      |
| ■担当教員／金城 和俊(農学部 准教授)  | ■初回授業日／4月11日                 |      |
| ■場所／農西(W)104教室  | ■曜日・時限／金曜日・3時限目(12:50~14:20) |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／10名                      |      |
| ■受講者への連絡方法／WebClassにて、受講者への連絡を行う。講義資料や課題の提出もWebClassを活用する。<br>■備考／本授業は土壌学の応用の内容ですので、基礎的な内容は10月の「環境土壌学」を先に受講していただくことをおすすめします。  |                              |      |
| 25 森林微生物学   |                              | 専門科目 |
| <b>■講義内容</b> ／森林やマングローブの樹木、都市の植栽木を対象に、病害など樹木と真菌類などの微生物との相互関係についての基礎的な知識を習得する。樹木の器官・組織の形態・構造や生理の特徴、樹木寄生微生物の分類や形態・生活史、媒介昆虫がいる場合や複数の因子が協働する場合の病害の特性、人間活動を含む環境条件をなす因子やその特性について概説し、病害における宿主樹木-病原-環境の三者関係(disease triangle)の多様性について理解する。また、材質腐朽、菌根、内生など微生物と樹木・森林のさまざまな関係についてわかりやすく解説する。 |                              |      |
| ■担当教員／亀山 統一(農学部 助教)   | ■初回授業日／4月14日                 |      |
| ■場所／農西(W)105教室  | ■曜日・時限／月曜日・3時限目(12:50~14:20) |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／5~10名                    |      |
| ■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br>■備考／「森林保護学」を受講済みの学生を対象としていますので、順を追って学んだ方が理解しやすいですが、本科目から受講しても分かるように講義しています。   |                              |      |
| 26 物理化学   |                              | 専門科目 |
| <b>■講義内容</b> ／物理化学の二大テーマである、量子化学と化学熱力学を、主にエネルギーの観点から高校生にもわかるレベルで講義する。量子化学では原子と分子が持つエネルギーが電子のエネルギー状態によって記述され、原子及び分子の特性が決定されることを学ぶ。化学熱力学では、原子及び分子が集まった物質のエネルギーと仕事の関係及び、状態の変化について学ぶ。   |                              |      |
| ■担当教員／永島 浩樹(工学部 准教授)  | ■初回授業日／4月17日                 |      |
| ■場所／工学部2号館414   | ■曜日・時限／木曜日・3時限目(12:50~14:20) |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／5名                       |      |
| ■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br>■備考／  |                              |      |
| 27 批判的談話研究特論A   |                              | 専門科目 |
| <b>■講義内容</b> ／<br>【背景】社会において求められている「民主的な市民性」に欠かせないのが批判的リテラシーである。<br>【内容】その涵養を目指し、欧州を中心に行われている学際的研究「批判的談話研究(Critical Discourse Studies; CDS)」の理論や手法、社会問題を批判的に検討するためのアプローチなどを、文献の読解や言説の分析を通して学ぶ。  |                              |      |
| ■担当教員／名嶋 義直(グローバル教育支援機構 教授)   | ■初回授業日／4月16日                 |      |
| ■場所／国際教育センター206教室   | ■曜日・時限／水曜日・3時限目(12:50~14:20) |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／5名                       |      |
| ■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。<br>■備考／具体的な授業内容や進め方は受講生と相談の上で決めていきます。   |                              |      |

## 【前学期】

| 28 日本語B1S   |  | 日本語学習科目 |
|---|--|---------|
| <p>■講義内容／主に聞く・書く活動を通して、CEFR B1レベルの基礎的な日本語力を養成する。中級前半～中級中盤レベルの日本語教科書や生の教材を使い、学んだ語彙・表現を使い自分の考えをまとめることを目標とする。</p>  |  |         |
| <p>■担当教員／渡真利 聖子(グローバル教育支援機構 講師)、ほか</p>  | <p>■初回授業日／4月11日</p>                              |         |
| <p>■場所／水、金：国際教育センター110教室</p>  | <p>■曜日・時限／水曜日・2限目、金曜日・2時限目<br/>(10:20～11:50)</p> |         |
| <p>■受講料(単価料金)／9,000円</p>  | <p>■定員／5名</p>                                    |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールやMicrosoft OneNoteアプリにて行う<br/>■備考／日本語非母語話者対象の日本語学習コース</p>  |  |         |
| 29 日本語B2S   |  | 日本語学習科目 |
| <p>■講義内容／JFスタンダードB1レベルを終了し、これからB2レベルを目指す受講者を対象に、初中級以上の文法項目の学習を通し、身近なコンテキストの議論へ参加し、興味関心のある分野については明瞭で詳細な説明が行える能力を養う。『ニューアプローチ中・上級日本語 完成編』(ISBN: 4931315127)を教科書とする。</p>   |  |         |
| <p>■担当教員／新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)</p>  | <p>■初回授業日／4月14日</p>                              |         |
| <p>■場所／国際教育センター110教室</p>  | <p>■曜日・時限／月曜日・木曜日 1時限目(8:30～10:00)</p>           |         |
| <p>■受講料(単価料金)／9,000円</p>  | <p>■定員／5名</p>                                    |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br/>■備考／</p>  |  |         |
| 30 漢字S  |  | 日本語学習科目 |
| <p>■講義内容／There is no required textbook. Bring the original material (vocabulary list including 1006 kanjis) created by Arashiro.</p> <p>[Course content and methods]<br/>This is a beginner to intermediate level Kanji class for learning Japanese.<br/>1) For the first 15 minutes of each lesson, students will take the review quiz.<br/>2) After the review, students will check the new words' readings and writing exercise(writing kanji from hiragana).<br/>3) During the last 30 or 45 minutes, students will take two or more quizzes.<br/>4) If necessary, related words or kanjis will be introduced.</p> <p>[Goals and objectives]<br/>1)To be able to read and write about 500 vocabularies using basic kanji (about 100 characters).<br/>[Communication・Skill]<br/>2)To be able to use systematic knowledge about kanji to understand and use a new vocabulary.[Information Literacy]<br/>3)To be able to collect information about everyday life based on the knowledge of Kanjis have been learned.<br/>[Autonomy][Region・Internationalism ][Communication・Skill]</p> |  |         |
| <p>■担当教員／Naoki Arashiro:新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)</p>   | <p>■初回授業日／4月14日</p>                              |         |
| <p>■場所／Regional &amp; International Study Center Bldg. (International Student Center),Room203:地域国際学習センター(国際教育センター)ビル 203教室</p>  | <p>■曜日・時限／Monday 4th : 月曜日・4時限目(14:40～16:10)</p> |         |
| <p>■受講料(単価料金)／6,300円</p>  | <p>■定員／a few:5名以内</p>                            |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br/>■備考／</p>  |  |         |

## 【前学期】

| 31 会話A3S  |   | 日本語学習科目 |
|---|---|---------|
| <p>■講義内容／Students will study conversation at a level between the second half of the beginner level (JF Standard A2) and the first half of the intermediate level (JF Standard B1).<br/>Conversation exercises will be based on the study topics in "Marugoto: Japanese language and culture Pre-Intermediate A2/B1" (ISBN-13: 978-4384057584).</p>  |   |         |
| ■担当教員／Naoki Arashiro: 新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)   | ■初回授業日／4月14日                                |         |
| ■場所／Regional & International Study Center Bldg. (International Student Center), Room206: 地域国際学習センター(国際教育センター)ビル 206教室   | ■曜日・時限／Monday 2nd : 月曜日・2時限目 (10:20～11:50)  |         |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／a few: 5名以内                             |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br/>■備考／</p>  |   |         |
| 32 作文A3S  |   | 日本語学習科目 |
| <p>■講義内容／Students will study composition at a level between the late beginner level (JF Standard A2) and the early intermediate level (JF Standard B1).<br/>Students will write compositions according to the study topics in "Marugoto: Japanese language and culture Pre-Intermediate A2/B1" (ISBN-13: 978-4384057584).<br/>Students will be given a Kanji quiz to increase their vocabulary and ensure they remember all Kanji included in their compositions.<br/>Students will submit composition homework for each lesson, which the teacher will correct and return.</p> |   |         |
| ■担当教員／Naoki Arashiro: 新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)   | ■初回授業日／4月15日                                |         |
| ■場所／Regional & International Study Center Bldg. (International Student Center), Room101: 地域国際学習センター(国際教育センター)ビル 101教室   | ■曜日・時限／Tuesday 4nd: 火曜日・4時限目(14:40～16:10)   |         |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／a few: 5名以内                             |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br/>■備考／</p>  |   |         |
| 33 聴読解A3S   |   | 日本語学習科目 |
| <p>■講義内容／Students will study listening and reading comprehension at a level between the late beginner level (JF Standard A2) and the early intermediate level (JF Standard B1).<br/>The course will include listening and reading comprehension exercises from "Marugoto: Japanese language and culture Pre-Intermediate A2/B1" (ISBN-13: 978-4384057584).<br/>Vocabulary quizzes will be given to increase vocabulary and to ensure that students remember all vocabulary.</p>   |   |         |
| ■担当教員／Naoki Arashiro: 新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)   | ■初回授業日／4月17日                                |         |
| ■場所／Regional & International Study Center Bldg. (International Student Center), Room110: 地域国際学習センター(国際教育センター)ビル 110教室   | ■曜日・時限／Thursday 2nd : 木曜日・2時限目(10:20～11:50) |         |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／a few: 5名以内                             |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br/>■備考／</p>  |   |         |

## 【前学期】

| 34 日本語A (Japanese A) <span style="float: right;">日本語学習科目</span>  |  |
|--|--|
| <p>■講義内容／This is a 8 period per week class which students will study elementary four skills generally. Using topic syllabus, class will be taught by Task mainly.<br/>           【Mon./Fri.(8:30-11:50) Tomohide MAJIMA】<br/>           【Tue./Thu.(8:30-11:50) Asami NAKAGAWA】</p>   |  |
| ■担当教員／MAJIMA Tomohide 他(グローバル教育支援機構 非常勤講師)ほか   | ■初回授業日／4月11日   |
| ■場所／International Student Center (Mon/Fri)108 (Tue/Thu)101   | ■曜日・時限／Monday, Tuesday, Thursday, Friday 1st and 2nd (8:30~11:50)                                      |
| ■受講料(単価料金)／9,000円  | ■定員／a few  |
| ■受講者への連絡方法／LINE  | ■備考／   |
| 35 日本語A1 (Japanese A1) <span style="float: right;">日本語学習科目</span>  |  |
| <p>■講義内容／This is the 4 times a week Japanese class to study four skills synthetically: speaking, listening, reading, and writing, of elementary level. Check hiragana and katakana, and memorize sentence pattern. And then study following a textbook. Basically reading and writing practice will be done at home, and oral sentence pattern practice will be done in class. Each lesson give students a homework.</p> |  |
| ■担当教員／MAJIMA Tomohide(グローバル教育支援機構 非常勤講師)、ほか  | ■初回授業日／4月14日   |
| ■場所／International Student Center 108   | ■曜日・時限／Mon 3rd, Tue 4th, Wed 2nd, Thu 3rd (Mon/Thu) 12:50-14:20 (Tue)14:40-16:10 (Wed)10:20-11:50      |
| ■受講料(単価料金)／9,000円  | ■定員／A Few  |
| ■受講者への連絡方法／／ LINE  | ■備考／   |
| 36 日本語A2 (JapaneseA2) <span style="float: right;">日本語学習科目</span>   |  |
| <p>■講義内容／This is a 4 period per week class which students will study elementary four skills generally. Basically practicing reading and writing are required to study at home, in class oral practice with using sentence patterns will be a main practice.</p>  |  |
| ■担当教員／MAJIMA Tomohide(グローバル教育支援機構 非常勤講師)、ほか  | ■初回授業日／4月14日   |
| ■場所／International Student Center 107   | ■曜日・時限／Monday 1st, Tuesday 3rd, Wednesday 1st, Thursday 3rd (Mon/Wed) 8:30-10:00 (Tue/Thu) 12:50-14:20 |
| ■受講料(単価料金)／9,000円  | ■定員／A few  |
| ■受講者への連絡方法／ LINE   | ■備考／   |
| 37 文法A2 <span style="float: right;">日本語学習科目</span>   |  |
| <p>■講義内容／Students review the basic grammar of Japanese language and gain a basic ability to learn grammar autonomously after intermediate level. Students teach each other In groups in order to organize the basic grammar knowledge from new perspectives.</p>   |  |
| ■担当教員／山元 淑乃(グローバル教育支援機構 准教授)   | ■初回授業日／4月15日   |
| ■場所／国際教育センター 206   | ■曜日・時限／木曜日4時限目 14:40-16:10   |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／若干名  |
| ■受講者への連絡方法／ライン   | ■備考／   |

## 【後学期】

| 38 宗教と世界   |                                  | 共通教育科目 |
|--|----------------------------------|--------|
| <p>■講義内容／ 「宗教とは科学的知識をもたない過去の時代の人々が、人間や世界について誤って解釈したものだ」といった理解が、現代日本人の間では一般的であるように思われます。また世界的に見ても、そのような人々は増加しつつあります。ただし宗教を肯定的に捉える思想家も少数ながら存在します。</p> <p>この授業では、シュタイナー教育の創始者であると同時に神秘思想家としても知られるルドルフ・シュタイナーの宗教観を中心に取り上げます。</p>   |                                  |        |
| ■担当教員／寺石悦章(人文社会学部 教授)  | ■初回授業日／10月6日                     |        |
| ■場所／共通教育棟2-305教室   | ■曜日・時限／月曜日・3時限目(12:50~14:20)     |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名以内                         |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。</p> <p>■備考／教科書は琉球大学の生協で購入して下さい。</p>   |                                  |        |
| 39 人間と宗教   |                                  | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／ 宗教では死後の世界について語りますが、それは信仰の話。では実際のところ、人間は死んだらどうなるのでしょうか。「どうせわからない」と思いながらも気になってしまう、つい考えてしまうのが人間です。</p> <p>日本ではほとんど知られていませんが、世界では多くの研究者たちによって死や死後についての科学的な研究の成果が積み重ねられてきています。また、死や死後を真摯に探究した思想家たちもいます。授業ではこのような科学的研究の成果と、神秘思想家として知られるルドルフ・シュタイナーの死後生命観を取り上げます。</p> |                                  |        |
| ■担当教員／寺石悦章(人文社会学部 教授)  | ■初回授業日／10月2日                     |        |
| ■場所／共通教育棟2-305教室   | ■曜日・時限／木曜日・3時限目(12:50~14:20)     |        |
| ■受講料／6,300円  | ■定員／5名以内                         |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。</p> <p>■備考／教科書は琉球大学の生協で購入して下さい。</p>   |                                  |        |
| 40 基礎フランス語II   |                                  | 共通教育科目 |
| ■講義内容／フランス語の基礎会話の実践(語彙・文法・日常文化)  |                                  |        |
| ■担当教員／デルバール・フランク(国際地域創造学部 准教授)・宮里厚子(国際地域創造学部 教授)   | ■初回授業日／10月3日                     |        |
| ■場所／(火曜)共通教育棟3号館403教室<br>(金曜)共通教育棟3号館205教室   | ■曜日・時限／火曜日、金曜日・2時限目(10:20~11:50) |        |
| ■受講料(単価料金)／9,000円  | ■定員／5名                           |        |
| <p>■受講者への連絡方法／frankdb@grs.u-ryukyu.ac.jp</p> <p>■備考／基礎フランス語 I を履修した方または基礎フランス語 I を履修せずにそのレベルに達した方向けの授業です。</p>  |                                  |        |
| 41 ことばの構造と意味   |                                  | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／日頃何気なく使っている「ことば」の裏に潜む精緻な仕組みと、その仕組みによって伝えられる意味について、考えていきます。日本語文法と英文法のような様々な項目について比較を行い、共通点と相違点について検討していきます。その中から人間言語の普遍的な仕組みがおぼろげながらも見えてくるはずで。授業は、その日のトピックについて教員が説明し、それについて課題に取り組んでもらい理解を確認したり疑問点を提示してもらい、という流れで行われます。</p>                                       |                                  |        |
| ■担当教員／吉本 靖(国際地域創造学部 教授)  | ■初回授業日／10月2日                     |        |
| ■場所／共通教育棟3号館104  | ■曜日・時限／木曜日・2時限目(10:20~11:50)     |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                           |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はWebClassで行う</p> <p>■備考／</p>   |                                  |        |

## 【後学期】

| 42 現代企業のしくみⅡ  |                              | 共通教育科目 |
|---|------------------------------|--------|
| ■講義内容／<br>企業が公表する決算数値の読み方・分析方法・沖縄の上場企業のケーススタディーを学ぶ講義です。   |                              |        |
| ■担当教員／多賀 寿史(国際地域創造学部 准教授)   | ■初回授業日／10月3日                 |        |
| ■場所／共通教育等2-201  | ■曜日・時限／金曜日・5時限目(16:20~17:50) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／10名                      |        |
| ■受講者への連絡方法／休講時や課題などの連絡はwebclassから行う<br>■備考／簿記会計の知識は問いません。毎回ノートPCと電卓の持参をお願いします。配布物は全てwebclassから行います。   |                              |        |
| 43 環境と文学  |                              | 共通教育科目 |
| ■講義内容／「環境文学」として呼ばれる作品群およびその研究は1980年代の欧米を中心に知られるようになりました。本講義では、作品としてのこのジャンルの特徴やそのジャンル性を支える歴史的・思想的文脈を学びながら、アプローチ(研究)としての環境文学理論と実践について学んでいきます。環境問題について考えるというよりも、概念としての(環境)について理解を深めつつ、環境文学について考察し、そして自ら環境文学的解釈を試みることができるようになることを目指します。 |                              |        |
| ■担当教員／山城 新(国際地域創造学部 教授)   | ■初回授業日／10月7日                 |        |
| ■場所／共通教育棟3号館102教室   | ■曜日・時限／火曜日・2時限目(10:20~11:50) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／5名以内                     |        |
| ■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。<br>■備考／   |                              |        |
| 44 アメリカの文学と近代社会   |                              | 共通教育科目 |
| ■講義内容／近代から現代にかけてのアメリカ文学とアメリカ社会の関係性を「医学」をキーワードに考察していきます。アメリカ文学作品を取り上げますが、作家のバックグラウンドや作品の要約なども紹介しながら講義しますので、英語力にあまり自信のない方でも楽しんで受講できると思います。  |                              |        |
| ■担当教員／加瀬 保子(国際地域創造学部 准教授)   | ■初回授業日／10月1日                 |        |
| ■場所／共通教育棟3号館305教室   | ■曜日・時限／水曜日・2時限目(10:20~11:50) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／5名                       |        |
| ■受講者への連絡方法／Eメール<br>■備考／英語で書かれた文学作品を用いますので、できる限り予習をすることを勧めます。  |                              |        |
| 45 ゲノム情報の生命科学とデータサイエンス入門  |                              | 共通教育科目 |
| ■講義内容／コロナウイルス感染時の重症化やがん、生活習慣病へのかかりやすさは、個人のヒトゲノムに記された情報により担われている。本講義では、ゲノム情報の機能発現をデータサイエンス的アプローチで解析する手法を学ぶ。前半でヒトゲノムの機能発現機構の基礎とその情報の実験的取得方法、医学研究の実際を学習する。その後、演習方式で遺伝子発現情報のデータサイエンス的アプローチによる解析を体験する。解析は自身のPCで行う。                       |                              |        |
| ■担当教員／黒柳 秀人(医学研究科 教授)   | ■初回授業日／10月4日                 |        |
| ■場所／共通教育棟2号館 101教室  | ■曜日・時限／金曜日・4時限目(14:40~16:10) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円   | ■定員／10名以内                    |        |
| ■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はWebclassを用いる。<br>■備考／生物学系の学生だけでなく、物理・化学系の学生、文系の学生も歓迎します。高校レベルの生物学の基礎から講義します。後半のデータサイエンス演習では、高校レベルの情報の基礎から講義し、遺伝子発現データの解析を体験します。解析のためノートPCが必要です。   |                              |        |

## 【後学期】

|  |                              |        |
|--|------------------------------|--------|
| <b>46 物理学入門II</b>  |                              | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／「熱と温度は違う?」、「冷蔵庫やエアコンの原理は?」、「エントロピーって何?」、「ドップラー効果とは?」、「蛍気楼とは?」、「電流と磁場の関係は? 電流も磁場を作る?」、「直流モーターや発電機の原理とは?」など、熱、波、電気、磁気に関する疑問を論理的に理解する方法を解説します。受講者が高校の物理を履修していないことを考慮に入れ、グラフや図を多用して、熱、波、電磁気学の基礎的事項から解説します。</p>  |                              |        |
| ■担当教員／安田 千寿(理学部 教授)  | ■初回授業日／10月7日                 |        |
| ■場所／共通教育棟2-101教室   | ■曜日・時限／火曜日・2時限目(10:20~11:50) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                       |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。<br/>           ■備考／・対面講義が困難な場合、WebClassとZoomを用いた遠隔講義を実施します。<br/>           ・実施方法を学期途中で変更する可能性があります。</p>   |                              |        |
| <b>47 大学教育論</b>  |                              | 専門科目   |
| <p>■講義内容／大学ではあらゆることが考察の対象となり得ます。そして「大学」自体もその一つです。「大学」はなぜ誕生し、どのような役割を果たしているのか。それらは日本と諸外国で、そして時代によってどのように異なるのか。大学はどのような制度によって支えられているのか。その組織は小中高校、役所、あるいは企業と何が異なるのか。自明なことものように、改めて考えてみると疑問に思うことは少なくありません。そして、これらを考えることは、皆さんの今後の学生生活、さらには卒業後の学習を考えることにもつながります。<br/>           本講義では、「大学」とは何かを知ることを通じて、大学でどのような学習経験をするべきか、という課題を皆さんに考えてもらいます。本講義は、学習課題としてあらかじめ配布する資料に関する予習を求めます。授業時には担当教員のショートレクチャーを交えながら、受講生間でのディスカッションを中心に進めます。</p> |                              |        |
| ■担当教員／天野 智水(グローバル教育支援機構 准教授)   | ■初回授業日／10月6日                 |        |
| ■場所／共通教育棟3号館101教室  | ■曜日・時限／月曜日・2時限目(10:20~11:50) |        |
| ■受講料／6,300円  | ■定員／5名                       |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はWebClassにて行う。<br/>           ■備考／</p>   |                              |        |
| <b>48 日本語教育各論II</b>  |                              | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／日本語教育各論II:批判的読解を行いながら民主的シティズンシップを育てる日本語教育について考える</p>  |                              |        |
| ■担当教員／名嶋 義直(グローバル教育支援機構 教授)  | ■初回授業日／10月2日                 |        |
| ■場所／地域国際学習センター203教室  | ■曜日・時限／木曜日・1時限目(8:30~10:00)  |        |
| ■受講料／6,300円  | ■定員／5~10名                    |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。<br/>           ■備考／受講を歓迎します。ご登録をお待ちしています。</p>   |                              |        |
| <b>49 教育政策史</b>  |                              | 共通教育科目 |
| <p>■講義内容／現在日本で進む様々な教育改革は、米国で先行する教育政策の影響を受けている。そこで、本講義では、日米の教育政策の歴史的な展開を検討し、現代の教育政策上の課題について理解を深めることを目的とする。</p>  |                              |        |
| ■担当教員／柴田 聡史(地域連携推進機構 准教授)  | ■初回授業日／10月7日                 |        |
| ■場所／共通教育棟2-100教室   | ■曜日・時限／火曜日・2時限目(10:20~11:50) |        |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                       |        |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールまたはWebClassにて行う。<br/>           ■備考／・本講義はオンデマンド形式の遠隔授業として実施します。<br/>           ・遠隔授業の受講方法(Webclassへの登録など)については、メールにてお知らせします。</p>  |                              |        |

## 【後学期】

### 50 キャリアデザインとジェンダー

共通教育科目

#### ■講義内容／

- ①オリエンテーション、「キャリアデザインとジェンダーの関係」
- ②「学校から社会へーキャリアデザインを考えるー」
- ③「組織・人材開発の視点によるキャリアデザイン」
- ④「ジェンダーと働きがいのある仕事」
- ⑤「働きがいのある仕事～その1」ー 環境保全とビジネス ー
- ⑥「働きがいのある仕事～その2」ー 働く人のモチベーションを組織の活力へ ー
- ⑦「働きがいのある仕事～その3」ー 女性の政治・コミュニティのイニシアチブ ー
- ⑧「働きがい」と「働きやすさ」ー 女性がつくる職場の未来 ー
- ⑨「ダイバーシティと働きがいのある職場」
- ⑩「働きがいのある職場～その1」ー 地域力を活かしたビジネスの創出 ー
- ⑪「働きがいのある職場～その2」ー ハラスメントのない職場をめざして ー
- ⑫「働きがいのある職場～その3」ー SDGsから考える仕事とキャリア ー
- ⑬キャリアデザインの振り返り
- ⑭プレゼンテーション(中間報告)
- ⑮最終プレゼンテーション、授業全体の振り返り

※上記授業計画は、招聘講師の都合等により講義日程やテーマが変更となる可能性があります。

■担当教員／畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)

■初回授業日／10月7日

■場所／オンライン授業(Zoom)

■曜日・時限／火曜日・6時限目(18:00～19:30)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／10名

■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。

■備考／

### 51 人間の探究

専門科目

■講義内容／ 授業では、20世紀初頭にドイツ語圏で活躍した思想家ルドルフ・シュタイナー(1861～1925)の思想を手がかりに、哲学的観点から「人間とはどのような存在か」といった問題について探究します。深遠なテーマではありますが、皆さんが想像するほど難しい内容ではありません。

■担当教員／寺石 悦章(人文社会学部 教授)

■初回授業日／10月7日

■場所／文系学部棟215教室

■曜日・時限／火曜日・4時限目(14:40～16:10)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／10名

■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。

■備考／教科書は琉球大学の生協で購入して下さい。

### 52 マーケティング入門

専門科目

■講義内容／この講義の主題は、企業のマーケティング活動に関連する諸概念の紹介です。企業は自社の利益を上げるために、消費者の需要を満足させなければなりません。この目的を達成するために、どのように工夫し展開していくのか、それを考えるのがマーケティング担当者の主な仕事です。その内容を大きく分ければ、「製品」、「価格」、「販売ルート」、「販売促進」といった4つの部分があります。この講義では、この4つのテーマに沿って、事例を取り上げながら、わかりやすく解説します。

■担当教員／王 怡人(国際地域創造学部 教授)

■初回授業日／10月7日

■場所／国際地域創造学部 文系講義棟111教室

■曜日・時限／火曜日・6時限目(18:00～19:30)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／WebClassでの掲示か、E-mailにて連絡します。

■備考／・感染拡大防止措置を実施した上で対面講義を実施しますので、出席出来るよう時間を調整してください。



## 【後学期】

### 53 観光地における環境教育

専門科目

■講義内容／ 物質的な豊かさをもたらしてきた従来の開発のあり方は、私たちの身の回りで環境破壊や貧困問題、人権侵害など様々な地球規模の社会問題を生み出してきました。国際社会による開発のとらえ方が、経済開発から社会開発そして人間開発と時代の流れとともに変化してきましたように、環境のとらえ方も私たちを取り巻く生活そして社会全体から俯瞰する必要があります。現代の環境問題は、自然環境のみならず、経済や政治、文化や健康など人間に関わるあらゆる問題が絡み合っており、環境問題の解決のためには、これらのつながりを理解することが求められています。

持続可能な社会づくりに主体的に参画する力を育むことを意図としたあらゆる教育活動であるESD(Education for Sustainable Development)の登場によって、環境教育には持続可能な地域づくりのための教育としての役割と可能性が明確にされ、特に3.11以降の日本においてエネルギーや気候変動の問題に対する環境教育への期待は高いといえるでしょう。本授業は、環境を広義にとらえ、環境を取り巻く様々な問題や課題を関係性という“つながり”で考えることができる理解力と、多様なアプローチから環境問題の解決策を探り実践していくことのできる行動力を養うことを目的としています。そして、観光という現象を取り巻く様々な社会問題と地球規模の環境問題との深いつながりから環境教育の役割を考察していきます。

また、現在国内外での取組みが期待されている2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で中核をなす、世界が達成すべき17ゴール・169ターゲットからなるSDGs(「持続可能な開発目標」)(Sustainable Development Goals)を学び、SDGsを活用した地域における環境課題への具体的な取組みを考え、議論を深めます。

■担当教員／大島 順子(国際地域創造学部 准教授)

■初回授業日／10月3日

■場所／文系講義棟215教室

■曜日・時限／金曜日・2時限目(10:20~11:50)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／若干名(3名)

■受講者への連絡方法／原則としてWeb classを用いて連絡を行いますので、支障なくweb classにアクセスが出来、Eメールでのやりとりも問題なく出来ることを受講の条件とさせていただきます。

■備考／ この授業は、映像やビデオ視聴、新聞記事、パンフレットやポスターなど多様なメディアを使用し、講義とグループワーク、ディスカッションなどを適材適所に活用した能動的学習で学生皆さんの積極的な参加を促します。また、授業では自己の学習過程を振り返る、省察するというセルフ・リフレクション方式を取り入れ、これらを蓄積してポートフォリオとして自分の学習活動と自己変容、成果を自己評価するルーブリック評価を実施します。アクティブ・ラーニングの柱となる主体的、対話的そして深い学びを実感できます。予習や復習が多い授業ですが、学生と一緒に学ぶ楽しさを体験してください！最新の情報については、シラバスをご確認ください。

### 54 英語の文構造

専門科目

■講義内容／私たちは、子供のころに努力や訓練をすることなく言語を獲得し、日々の生活の中で言語を話したり、聞いて理解したりすることができるようになります。これは、私たち人間に(特にその脳の働きとして)、それを可能にする何かが存在しているためです。本授業では、私たちの頭の中にある言語の知識とそのもとになり人間皆が等しく持っている「言語の種(たね)」がどのような姿をしているのか、具体的な言語現象(特に英語)を注意深く観察しながら検討していきます。授業は、教科書を読み進めていくことを中心に行いますが、適宜ディスカッションや問題演習も行います。

■担当教員／刺田 昌信(国際地域創造学部 講師)

■初回授業日／10月2日

■場所／共通教育棟2号館 201

■曜日・時限／木曜日・6時限目(18:00~19:30)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／5名

■受講者への連絡方法／webclass, email

■備考／

### 55 社会科学のためのゲーム論入門

専門科目

■講義内容／ゲーム理論は複数の人々が意思決定に関して相互作用する状況を分析する理論で、様々な分野で有用な思考ツールとして定着しています。本講義はゲーム理論の基礎と現実社会で生じる状況の分析について学びます。

■担当教員／堀 勝彦(国際地域創造学部 准教授)

■初回授業日／10月1日

■場所／文系学部棟114教室

■曜日・時限／水曜日・2時限目(10:20~11:50)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／5名程度

■受講者への連絡方法／課題等の連絡はWebClassにて行う

■備考／講義資料はWebClassに掲示しますので、講義中はノートPCやタブレットで閲覧いただくか、印刷の上ご持参ください。

## 【後学期】

|  |                              |      |
|--|------------------------------|------|
| <b>56 英米文化研究Ⅳ</b>  |                              | 専門科目 |
| <p>■講義内容／英米ひいては英語圏の文学作品を読みます。異なる作品を多く読むことで、文学の幅広さや奥深さが伝わることを目指します。授業ではグループや教室全体でディスカッションを行うので、出席するだけでなく参加することが求められます。</p>  |                              |      |
| ■担当教員／小林 正臣(教育学部 准教授)  | ■初回授業日／10月6日                 |      |
| ■場所／共通教育棟3号館305教室  | ■曜日・時限／月曜日・5時限目(16:20～17:50) |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                       |      |
| <p>■受講者への連絡方法／課題や休講等の連絡はWebClassにて行います。<br/>           ■備考／授業は課題作品を読んでいることを前提に進行します。</p>   |                              |      |
| <b>57 化学統計熱力学</b>  |                              | 専門科目 |
| <p>■講義内容／化学熱力学では、物質を構成している分子の存在を仮定する必要なく、エンタルピーやエントロピー、ギブズエネルギー等の熱力学関数を用いて、化学反応の自発性や化学平衡を解釈します。このことを学習した人の中には、熱力学関数に個々の分子の振る舞いがどう反映されるのか知りたい、と自然に考えた人も少なくないだろうと思います。化学統計熱力学では、物質を構成する個々の分子がとりうる状態を考察してゆき、分子の振る舞いに基づいて熱力学関数を導出していきます。</p> |                              |      |
| ■担当教員／玉城 喜章(理学部 准教授)   | ■初回授業日／10月7日                 |      |
| ■場所／理系複合棟207教室   | ■曜日・時限／火曜日・2時限目(10:20～11:50) |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名以内                     |      |
| <p>■受講者への連絡方法／通常の連絡は講義の際に行い、休講等の臨時の連絡はEメールで行う。<br/>           ■備考／対面講義が困難な場合は、授業は公開しません。</p>   |                              |      |
| <b>58 物理化学Ⅳ</b>  |                              | 専門科目 |
| <p>■講義内容／本科目は、大学の学部化学専攻学生向けの物理化学の講義です。化学反応(化学変化)を理解するために必要な基本的な考え方や原理およびその適用等を概説し、主に化学反応速度論と化学平衡についての講義を行います。</p>  |                              |      |
| ■担当教員／漢那 洋子(理学部 准教授)   | ■初回授業日／10月7日                 |      |
| ■場所／理系複合棟202教室   | ■曜日・時限／火曜日・1時限目(8:30～10:00)  |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                       |      |
| <p>■受講者への連絡方法／休講等の連絡は、e-mailで行うか、講義時間中に行います。<br/>           ■備考／</p>   |                              |      |
| <b>59 熱帯生物学概論</b>  |                              | 専門科目 |
| <p>■講義内容／生物の営みに対する理解を深め、自然環境の重要性に対する認識を高めてもらうことを目標に、琉球列島の生物に関する多様な研究を紹介しながら、生物科学における位置づけと他の分野との関連等について概説する。</p>  |                              |      |
| ■担当教員／大瀧 丈二(理学部 教授)  | ■初回授業日／10月7日                 |      |
| ■場所／理学部 複合棟102教室   | ■曜日・時限／火曜日・5時限目(16:20～17:50) |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                       |      |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時などの連絡手段は、メールとWebClassを用います。<br/>           ■備考／各授業回で使用されたパワーポイント(スライド)の内容は、未発表データが含まれている場合があるため、基本的に配布いたしません。休講などの連絡手段は、メールまたはWebClassを使用します。</p>   |                              |      |

## 【後学期】

| 60 確率及び統計  |                                 | 専門科目 |
|--|---------------------------------|------|
| <p>■講義内容／講義は平均や分散など、初歩的なところから始まり、「関数やガウス積分などを理論的に学びます。修了時には統計検定2級～準1級受験レベルになります。1)ニュースなどのデータを独自に検証したい人、2)多変量解析ソフトは使うが基礎的な理論を学びなおしたい人、等</p>   |                                 |      |
| ■担当教員／小野 尋子(工学部 教授)  | ■初回授業日／10月1日                    |      |
| ■場所／共通教育棟4号館505教室  | ■曜日・時限／水曜日午前8-10時、10回 (初回8:30-) |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5～10名以内                     |      |
| <p>■受講者への連絡方法／webclass を通じたメール連絡、講義用のデータの提供<br/>           ■備考／早朝から2時間を使って、スキルアップをしたい方をお待ちしています。</p>   |                                 |      |
| 61 食糧生産と環境   |                                 | 専門科目 |
| <p>■講義内容／人口の増加と食料問題に関して、環境から農業への影響および農業から環境へのインパクトを解説するとともに、植物-土壌系を中心とした元素循環について説明する。また、食料の増産が急がれている熱帯地域の現状と植物生産場の問題点について解説する。</p>   |                                 |      |
| ■担当教員／鬼頭 誠 (農学部 教授)  | ■初回授業日／10月2日                    |      |
| ■場所／農西(W)206教室   | ■曜日・時限／火曜日・2時限目(10:20～11:50)    |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名程度                        |      |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡は授業中に口頭で行うが、Eメールでも行う<br/>           ■備考／</p>   |                                 |      |
| 62 環境土壌学   |                                 | 専門科目 |
| <p>■講義内容／土壌は農業や環境を考える上で、非常に重要である。なぜなら、それらの根幹の役割を担うからである。本授業では、土壌が農業や環境にどのように影響するのかを考えるために、土壌学の基礎について解説する。授業の方法は、主に講義形式で行う予定である。</p>  |                                 |      |
| ■担当教員／金城 和俊(農学部 准教授)   | ■初回授業日／10月3日                    |      |
| ■場所／農西(W)104教室   | ■曜日・時限／金曜日・1時限目(8:30～10:00)     |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／10名                         |      |
| <p>■受講者への連絡方法／WebClassにて連絡を行う。講義資料や課題提出もWebClassを活用する。<br/>           ■備考／講義を受ける際に、高校理科の知識が少し必要な場合があります。パソコンやタブレットなどを活用して受講してください。</p>   |                                 |      |
| 63 森林保護学   |                                 | 専門科目 |
| <p>■講義内容／ 樹木の病害とその流行のしくみについて概論する。樹木が病気を起こすとき、そこには、①宿主樹木、②病気を直接引き起こす生物・非生物の因子(病原・主因)、③宿主や病原に作用して発病や流行を促進する因子(環境条件・誘因)が存在している。したがって、病気を理解するには、宿主、病原、環境の3つをそれぞれ理解し、その関係を考えることが必要となる。本科目では、宿主樹木の形態と成長のしくみ・水分通道などの生理的な特徴をまずよく学び、その上に立って、樹木全体が劇的に枯死する流行病を数種類取り上げて、カビやセンチュウなどの病原生物の特徴や、流行病が発生する自然的社会的条件について学んでいく。以上のように本講義の中心は樹木と病原菌類についての自然科学的な知識であるが、近現代の流行病の発生は、人間社会的活動と不可分の関係にあることから、社会的な問題も講義する。なお、個別病害の治療法などの実践技術、森林保護の社会運動については取り扱わない。</p> |                                 |      |
| ■担当教員／亀山 統一(農学部 助教)  | ■初回授業日／10月2日                    |      |
| ■場所／農西(W)202教室   | ■曜日・時限／木曜日・3時限目(12:50～14:20)    |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／10名以内                       |      |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br/>           ■備考／高校の生物の学習内容がある程度頭に入っていることを前提にして授業を行います。公開授業受講生がいる場合、できるだけわかりやすく授業を進めますが、受講者側の準備も必要です。</p>  |                                 |      |

## 【後学期】

| 64 教育の社会史  |                              | 専門科目 |
|--|------------------------------|------|
| <p>■講義内容／我々が経験してきた現行の“教育”は、古来から続く次世代育成の特殊近代的な形態である。では、かつて行われていた次世代育成はどのようなものであったのか。近代の所産である“教育”とは、いかなる歴史的経緯を経て現在に至るのか。本講義は、社会史の成果をもとに、近代以前から営まれてきた次世代育成の多様な展開を確認することで、当然視されている現行の“教育”を相対化するとともに、“日本の教育”に伏在する特異な“日本性”を抽出する。具体的には、社会史と歴史学的方法的相違を説明した上で以下の点を考察していく。子ども観の諸相、近代以前の次世代育成の内容・主体・方法、近代以後の次世代育成の内容・主体・方法、近代教育が日本に導入される過程とそこで付与された日本の特質など。授業方法はプリント資料による講義形式で行う。</p>           |                              |      |
| ■担当教員／背戸 博史(地域連携推進機構 教授)   | ■初回授業日／10月7日                 |      |
| ■場所／オンライン(Zoom)  | ■曜日・時限／火曜日・4時限目(14:40～16:10) |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                       |      |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。<br/>           ■備考／Zoomによる遠隔講義を予定しています。</p>   |                              |      |
| 65 環境経済学   |                              | 専門科目 |
| <p>■講義内容／環境問題は現代社会を象徴する社会問題の一つであり、人間の経済活動と密接に関係しています。そして、産業公害や資源の枯渇といった従来型の環境問題に加えて、気候変動や生物多様性保全といった地球規模の課題や、ごみ問題や自動車公害等の一般市民が汚染者となるような問題まで、環境問題自体も多様化しており、人間社会はこれらに適切に対応する必要性に迫られています。本科目は、講義を通して現代の環境問題の特徴を経済学的観点から客観的に理解するための基礎的知識を学び、グループディスカッションの機会を設けて受講生自ら問題解決策について考察することを目的とします。<br/>           講義で取り扱う主なテーマは、①経済学における環境問題の捉え方、②環境政策の経済分析、③環境の経済的価値評価、④資源の持続的利用と適正管理、です。</p> |                              |      |
| ■担当教員／藤田 陽子(島嶼地域科学研究所 教授)  | ■初回授業日／10月7日                 |      |
| ■場所／文系講義棟112(予定)   | ■曜日・時限／火曜日・6限(18:00～19:30)   |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名以内                     |      |
| <p>■受講者への連絡方法／EメールまたはWebClassのメッセージ機能にて行う。<br/>           ■備考／</p>   |                              |      |
| 66 批判的談話研究特論B  |                              | 専門科目 |
| <p>■講義内容／<br/>           【背景】社会において求められている「民主的な市民性」に欠かせないのが批判的リテラシーである。<br/>           【内容】その涵養を目指し、欧州を中心に行われている学際的研究「批判的談話研究(Critical Discourse Studies; CDS)」の理論や手法、社会問題を批判的に検討するためのアプローチなどを、文献の読解や言説の分析を通して学ぶ。</p>  |                              |      |
| ■担当教員／名嶋 義直(グローバル教育支援機構 教授)  | ■初回授業日／10月1日                 |      |
| ■場所／国際教育センター206教室  | ■曜日・時限／水曜日・3限(12:50～14:20)   |      |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名                       |      |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。<br/>           ■備考／具体的な授業内容や進め方は受講生と相談の上で決めていきます。</p>   |                              |      |

## 【後学期】

| 67 日本語B1F  |  | 日本語学習科目 |
|--|--|---------|
| <p>■講義内容／主に聞く・書く活動を通して、CEFR B1レベルの基礎的な日本語力を養成する。中級前半～中級中盤レベルの日本語教科書や生の教材を使い、学んだ語彙・表現を使い自分の考えをまとめることを目標とする。</p>   |  |         |
| <p>■担当教員／渡真利 聖子(グローバル教育支援機構 講師)、ほか</p>   | <p>■初回授業日／10月3日</p>                                  |         |
| <p>■場所／水、金：国際教育センター101教室</p>   | <p>■曜日・時限／水曜日・2限目、金曜日・2限目<br/>(10:20～11:50)</p>      |         |
| <p>■受講料(単価料金)／9,000円</p>   | <p>■定員／5名</p>  |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールやMicrosoft OneNoteにて行う。<br/>■備考／日本語非母語話者対象の日本語学習コース</p>   |  |         |
| 68 日本語B2F  |  | 日本語学習科目 |
| <p>■講義内容／JFスタンダードB2レベルを学習中である受講者を対象に、中級以上の文法項目の学習を通し、身近なコンテキストの議論へ参加し、興味関心のある分野については明瞭で詳細な説明が行える能力を養う。『日本語能力試験問題集N2文法スピードマスター：N2合格!』(ISBN: 9784863920590)を教科書とする。</p>  |  |         |
| <p>■担当教員／新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)</p>   | <p>■初回授業日／10月2日</p>                                  |         |
| <p>■場所／地域国際学習センター(国際教育センター)ビル110教室</p>   | <p>■曜日・時限／月曜日1時限目と木曜日1時限目(週2日の授業) (8:30～10:00)</p>   |         |
| <p>■受講料(単価料金)／9,000円</p>   | <p>■定員／5名以内</p>                                      |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br/>■備考／</p>   |  |         |
| 69 会話A3F   |  | 日本語学習科目 |
| <p>■講義内容／Students will study conversation at a level between the second half of the beginner level (JF Standard A2) and the first half of the intermediate level (JF Standard B1). Conversation exercises will be based on the study topics in “中級へ行こう：日本語の文型と表現59” (ISBN: 9784883193271).</p> |  |         |
| <p>■担当教員／Naoki Arashiro: 新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)</p>   | <p>■初回授業日／10月6日</p>                                  |         |
| <p>■場所／Regional &amp; International Study Center Bldg. (International Student Center), Room206: 地域国際学習センター(国際教育センター)ビル 206教室</p>   | <p>■曜日・時限／Monday 2nd: 月曜日・2時限目<br/>(10:20～11:50)</p> |         |
| <p>■受講料(単価料金)／6,300円</p>   | <p>■定員／a few: 5名以内</p>                               |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br/>■備考／</p>   |  |         |

## 【後学期】

### 70 漢字F

日本語学習科目

■講義内容／There is no required textbook. Bring the original material (vocabulary list including 1006 kanjis) created by Arashiro.

[Course content and methods]

This is a beginner to intermediate level Kanji class for learning Japanese.

- 1) For the first 15 minutes of each lesson, students will take the review quiz.
- 2) After the review, students will check the new words' readings and writing exercise(writing kanji from hiragana).
- 3) During the last 30 or 45 minutes, students will take two or more quizzes.
- 4) If necessary, related words or kanjis will be introduced.

[Goals and objectives]

- 1)To be able to read and write about 500 vocabularies using basic kanji (about 100 characters).

[Communication・Skill]

- 2)To be able to use systematic knowledge about kanji to understand and use a new vocabulary.[Information Literacy]

- 3)To be able to collect information about everyday life based on the knowledge of Kanjis have been learned.

[Autonomy][Region・Internationalism][Communication・Skill]

■担当教員／Naoki Arashiro: 新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)

■初回授業日／10月6日

■場所／Regional & International Study Center Bldg. (International Student Center),Room203: 地域国際学習センター(国際教育センター)ビル 203教室

■曜日・時限／Monday 4th: 月曜日・4時限目 (14:40～16:10)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／a few: 5名以内

■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う

■備考／

### 71 作文A3F

日本語学習科目

■講義内容／Students will study composition at a level between the late beginner level (JF Standard A2) and the early intermediate level (JF Standard B1).

Students will write compositions according to the study topics in “中級へ行こう：日本語の文型と表現59” (ISBN: 9784883193271).

Students will be given a Kanji quiz to increase their vocabulary and ensure they remember all Kanji included in their compositions.

Students will submit composition homework for each lesson, which the teacher will correct and return.

■担当教員／Naoki Arashiro: 新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)

■初回授業日／10月7日

■場所／Regional & International Study Center Bldg. (International Student Center),Room101: 地域国際学習センター(国際教育センター)ビル 101教室

■曜日・時限／Tuesday 4th : 火曜日・4時限目 (14:40～16:10)

■受講料(単価料金)／6,300円

■定員／a few: 5名以内

■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う

■備考／日本語非母語話者対象の日本語学習コース

## 【後学期】

| 72 聴読解A3F  |  | 日本語学習科目 |
|--|--|---------|
| <p>■講義内容／Students will study listening and reading comprehension at a level between the late beginner level (JF Standard A2) and the early intermediate level (JF Standard B1).<br/>The course will include listening and reading comprehension exercises from “中級へ行こう：日本語の文型と表現59” (ISBN: 9784883193271).<br/>Vocabulary quizzes will be given to increase vocabulary and to ensure that students remember all vocabulary.</p>      |  |         |
| ■担当教員／Naoki Arashiro: 新城 直樹(グローバル教育支援機構 講師)  | ■初回授業日／10月2日   |         |
| ■場所／Regional & International Study Center Bldg. (International Student Center), Room110: 地域国際学習センター(国際教育センター)ビル 110教室  | ■曜日・時限／Tuesday 2nd : 木曜日・2時限目(10:20～11:50)   |         |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／5名以内   |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う<br/>■備考／</p>   |  |         |
| 73 日本語A(Japanese A)  |  | 日本語学習科目 |
| <p>■講義内容／This is a 8 period per week class which students will study elementary four skills generally. Using topic syllabus, class will be taught by Task mainly.</p> <p>【Mon./Fri.(8:30-11:50) Tomohide MAJIMA】<br/>【Tue./Thu.(8:30-11:50) Asami NAKAGAWA】</p>  |  |         |
| ■担当教員／MAJIMA Tomohide 真島 知秀(グローバル教育支援機構 非常勤講師)ほか   | ■初回授業日／10月2日   |         |
| ■場所／International Student Center (Mon/Fri)108 (Tue/Thu)107   | ■曜日・時限／Monday, Tuesday, Thursday, Friday 1st and 2nd period (8:30～11:50)                               |         |
| ■受講料(単価料金)／9,000円  | ■定員／A few  |         |
| <p>■受講者への連絡方法／LINE<br/>■備考／</p>  |  |         |
| 74 日本語A1(Japanese A1)  |  | 日本語学習科目 |
| <p>■講義内容／This is the 4 times a week Japanese class to study four skills synthetically: speaking, listening, reading, and writing, of elementary level.<br/>Check hiragana and katakana, and memorize sentence pattern. And then study following a textbook.<br/>Basically reading and writing practice will be done at home, and oral sentence pattern practice will be done in class.<br/>Each lesson give students a homework.</p> |  |         |
| ■担当教員／MAJIMA Tomohide (グローバル教育支援機構 非常勤講師)  | ■初回授業日／10月1日   |         |
| ■場所／International Student Center (Mon/The)108 (Wed)107(Thu)206   | ■曜日・時限／Fall・Mon 3rd, Tue 4th, Wed 2nd, Thu 3rd (Mon/Thu) 12:50-14:20 (Tue)14:40-16:10 (Wed)10:20-11:50 |         |
| ■受講料(単価料金)／9,000円  | ■定員／A few  |         |
| <p>■受講者への連絡方法／LINE<br/>■備考／</p>  |  |         |

## 【後学期】

| 75 日本語A2 (Japanese A2)   |  | 日本語学習科目 |
|--|--|---------|
| <p>■講義内容／This is a 4 period per week class which students will study elementary four skills generally. Basically practicing reading and writing are required to study at home, in class oral practice with using sentence patterns will be a main practice.</p>  |  |         |
| ■担当教員／MAJIMA Tomohide (グローバル教育支援機構 非常勤講師)  | ■初回授業日／10月1日   |         |
| ■場所／International Student Center 107   | ■曜日・時限／Mon 1st, Tue 3rd, Wed 1st, Thu 3rd (Mon/Wed) 8:30-10:00 (Tue/Thu) 12:50-14:20 |         |
| ■受講料(単価料金)／9,000円  | ■定員／A few  |         |
| <p>■受講者への連絡方法／LINE<br/>■備考／</p>  |  |         |
| 76 文法A2  |  | 日本語学習科目 |
| <p>■講義内容／Students review the basic grammar of Japanese language and gain a basic ability to learn grammar autonomously after intermediate level. Students teach each other In groups in order to organize the basic grammar knowledge from new perspectives.</p> |  |         |
| ■担当教員／山元 淑乃(グローバル教育支援機構 准教授)   | ■初回授業日／10月2日   |         |
| ■場所／国際教育センター 206   | ■曜日・時限／木曜日4限(14:40-16:10)  |         |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／若干名  |         |
| ■受講者への連絡方法／ライン   | ■備考／   |         |
| 77 緩和ケア特論  |  | 大学院科目   |
| <p>■講義内容／エンド・オブ・ライフ・ケアに携わる看護師に必要な知識習得のための教育プログラム(ELNEC-J)を活用し、がん患者、家族の身体的、心理社会的、スピリチュアルな苦痛症状の緩和を目的とした看護援助について教授する。</p>   |  |         |
| ■担当教員／照屋 典子(保健学研究科 教授)   | ■初回授業日／10月9日(木)  |         |
| ■場所／医学部西普天間キャンパス 研究棟A棟   | ■曜日・時限／木曜日・5時限後半～6時限目(17:30～19:00)   |         |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／8名   |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。<br/>■備考／対象者は、看護師(臨床経験3年以上を有すること)とする。本科目は、保健学研究科の「緩和ケアエキスパートナース養成コース」の一環として提供されるものであり、「緩和ケア特論」と「緩和ケア特別演習Ⅰ」2科目を履修すること。<br/>※受講料は、「緩和ケア特別演習Ⅰ」とセットの2科目受講で「半期定額料金(9,000円)」です。<br/>※当該公開授業の申込期間は、例年同様、9月30日(火)まで</p>                |  |         |
| 78 緩和ケア特別演習Ⅰ   |  | 大学院科目   |
| <p>■講義内容／「緩和ケア特論」同様、ELNEC-Jの内容を踏まえた上で、診断から在宅医療など様々な場面で切れ目なく緩和ケアが提供されるための看護援助方法について、演習や事例検討を取り入れ、実践力の強化を図る。</p>   |  |         |
| ■担当教員／照屋 典子(保健学研究科 教授)   | ■初回授業日／10月9日(木)  |         |
| ■場所／医学部西普天間キャンパス 研究棟A棟   | ■曜日・時限／木曜日・6時限後半～7時限目(19:10～20:40)   |         |
| ■受講料(単価料金)／6,300円  | ■定員／8名   |         |
| <p>■受講者への連絡方法／休講時や課題等の連絡はEメールにて行う。<br/>■備考／対象者は、看護師(臨床経験3年以上を有すること)とする。本科目は、保健学研究科の「緩和ケアエキスパートナース養成コース」の一環として提供されるものであり、「緩和ケア特論」と「緩和ケア特別演習Ⅰ」2科目を履修すること。<br/>※受講料は、「緩和ケア特論」とセットの2科目受講で「半期定額料金(9,000円)」です。<br/>※当該公開授業の申込期間は、例年同様、9月30日(火)まで</p>                   |  |         |



## 6

## 令和7年度 年間行事予定表

| 実施日 | 予定行事   |
|-----|--|
| 4月  | 3月19日(水)～4月3日(木) <b>公開授業 前学期科目 仮申し込み期間</b><br>4月4日(金) 入学式<br>4月11日(金) <b>授業開始(前学期/第1クォーター)</b>                       |
| 5月  | 5月2日(金) <b>火曜日授業振替(火曜日の3回目)</b><br>5月22日(木) 開学記念日<br>5月24日(土) 体育祭  |
| 6月  | 6月10日(火) 授業終了(第1クォーター)※1<br>6月11日(水) 授業開始(第2クォーター)<br>6月23日(日) 慰霊の日<br>6月25日(水) <b>月曜日授業振替(月曜日の10回目)</b>             |
| 7月  | 7月20日(日) 琉球大学説明会(オープンキャンパス)<br>7月24日(木) <b>月曜日授業振替(月曜日の14回目)</b>   |
| 8月  | 8月8日(金)～8月12日(火) 予備日 ※2<br>8月12日(火) <b>授業終了(前学期/第2クォーター)</b><br>8月13日(水)～9月30日(火) 夏季休業                               |
| 9月  | 9月20日(土)～9月21日(日) 琉大祭<br>9月2日(火)～9月18日(木) <b>公開授業 後学期科目 仮申し込み期間(予定)</b>  |
| 10月 | 10月1日(水) <b>授業開始(後学期/第3クォーター)</b><br>10月15日(水) <b>月曜日授業振替(月曜日の2回目)</b>   |
| 11月 | 11月6日(木) <b>月曜日授業振替(月曜日の5回目)</b><br>11月28日(金) 授業開始(第4クォーター)  |
| 12月 | 12月1日(月) 授業終了(第3クォーター)<br>12月3日(水) 学校推薦型選抜等(休講)<br>12月25日(木)～1月4日(日) 冬季休業  |
| 1月  | 1月5日(月) 授業開始<br>1月13日(火) <b>月曜日授業振替(月曜日の13回目)</b><br>1月16日(金) 大学入学共通テスト準備(休講)<br>1月17日(土)～1月18日(日) 大学入学共通テスト         |
| 2月  | 2月9日(月) 2月10日(火) 予備日 ※2<br>2月10日(火) <b>授業終了(後学期/第4クォーター)</b><br>2月11日(水)～3月31日(火) 春季休業<br>2月25日(水)～2月26日(木) 一般選抜(前期) |
| 3月  | 3月12日(木) 一般選抜(後期)<br>3月24日(火) 卒業式  |

※1:クォーターとは、前学期と後学期のそれぞれ前半と後半に、8週(試験を含む)で授業を行う期間のことです。

※2:予備日は、台風等で全学休講になった日の授業または定期試験を行います。

#### お問合せ先・公開授業担当窓口

■琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課 地域連携推進係  
〒903-0213 沖縄県西原町字千原1番地(大学本部棟1階)

TEL:098-895-8019 FAX:098-895-8185

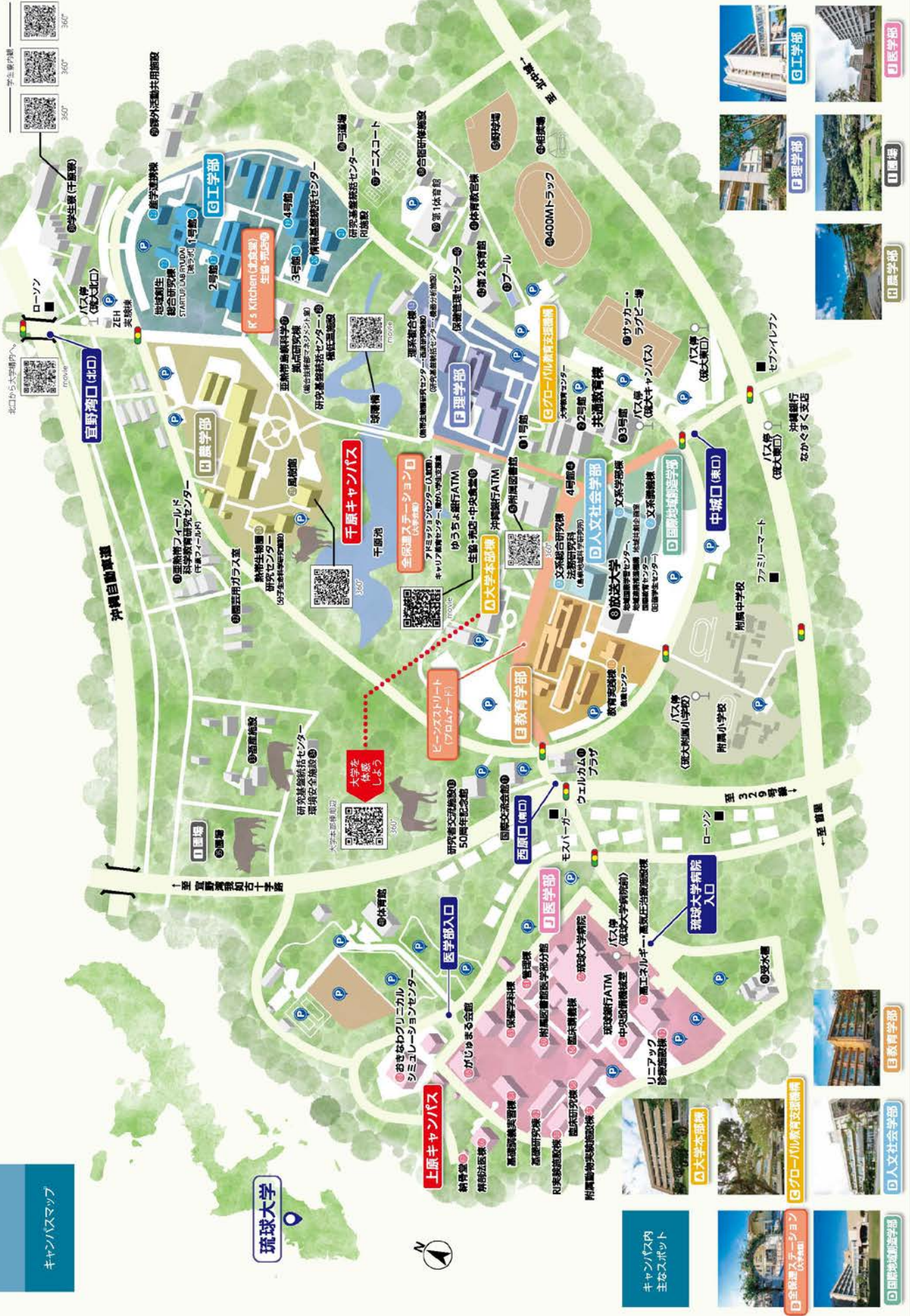
公開授業申込み専用予約サイト <https://eroll.u-ryukyu.narayun.jp/>

| DATA |                               | SCHEDULED EVENTS   |
|------|-------------------------------|--|
| Apr  | Mar (Wed) - Apr 3 (Thu)       | <b>Open lectures application period for First semester</b>                 |
|      | Apr 4 (Fri)                   | Entrance ceremony  |
|      | Apr 11 (Fri)                  | <b>Start of classes (1st semester/1st quarter)</b>                         |
| May  | May 2 (Fri)                   | Substitution day for Tuesday classes                                       |
|      | May 22 (Thu)                  | Anniversary of the founding of the University                              |
|      | May 24 (Sat)                  | Sports day   |
| June | June 10 (Tue)                 | <b>End of classes (1st quarter) *1</b>                                     |
|      | June 11 (Wed)                 | <b>Start of classes (2nd quarter)</b>                                      |
|      | June 23 (Sun)                 | Okinawa Memorial Day (no classes)  |
|      | June 25 (Wed)                 | Substitution day for Monday classes  |
| July | July 20 (Sun)                 | Campus tour (Open Campus)  |
|      | July 24 (Thu)                 | Substitution day for Monday classes  |
| Aug  | Aug 8 (Fri)~Aug 12(Tue)       | Substitution days *2   |
|      | Aug 12 (Tue)                  | End of classes (1st semester/2nd quarter)                                  |
|      | Aug 13 (Wed) – Sept 30 (Tue)  | Summer vacation  |
| Sept | Sept 2 (Tue) – Sept 18 (Thu)  | <b>Open lectures application period for Second Semester</b>                |
|      | Sept 20 (Sat) – Sept 21 (Sun) | University festival  |
| Oct  | Oct 1 (Wed)                   | <b>Start of classes (2nd semester/3rd quarter)</b>                         |
|      | Oct 15 (Wed)                  | Substitution day for Monday classes  |
| Nov  | Nov 6 (Thu)                   | Substitution day for Monday classes  |
|      | Nov 28 (Fri)                  | <b>Start of classes (4th quarter)</b>                                      |
| Dec  | Dec 1 (Mon)                   | <b>End of classes (3rd quarter)</b>  |
|      | Dec 3 (Wed)                   | Entrance examination (School recommendation, etc.)                         |
|      | Dec 25 (Thu) - Jan 4(Sun)     | Winter break   |
| Jan  | Jan 5 (Mon)                   | Start of classes   |
|      | Jan 13 (Tue)                  | Substitution day for Monday classes  |
|      | Jan 16 (Fri)                  | Preparation day for the Common Test for University Admissions (No classes) |
|      | Jan 17 (Sat) – Jan 18 (Sun)   | The Common Test for University Admissions                                  |
| Feb  | Feb 9 (Mon)~ Feb 10 (Tue)     | Substitution days *2   |
|      | Feb 10 (Tue)                  | <b>End of classes (2nd semester/ 4th quarter)</b>                          |
|      | Feb 11 (Wed) – Mar 31 (Tue)   | Spring break   |
|      | Feb 25 (Wed) – Feb 26 (Thu)   | General entrance examination (Primary period)                              |
| Mar  | Mar 12 (Thu)                  | General entrance examination (Secondary period)                            |
|      | Mar 24 (Tue)                  | Graduation ceremony  |

※1 : A quarter is a period of eight weeks (including exams) of instruction in the first and second halves of the first and second semesters, respectively.

※ 2 : Classes or regular examinations cancelled due to typhoons, etc. will be held on substitution days.

琉球大学



# 令和7年度 琉球大学公開授業 申込書

インターネットが利用できる方は、下記サイトより申込みを行って下さい。

**公開授業申込み専用予約サイト <https://erc11.u-ryukyu.narayun.jp/>**

前学期

( 申込日 令和 年 月 日 )

|                  |              |         |
|------------------|--------------|---------|
| ふりがな             |              |         |
| 氏 名              | 生年月日 ( . . ) |         |
| 住 所              | 〒 -          |         |
| 電話番号             | ( 自 宅 )      | ( 携 帯 ) |
| メールアドレス          |              |         |
| 職業(任意)           |              |         |
| 受講を希望する<br>授業科目名 | 授業番号         | 科 目 名   |
|                  |              |         |
|                  |              |         |
|                  |              |         |
|                  |              |         |

※ 科目一覧にない科目については受講を受付けておりません。

※ 各科目毎に定員に達し次第締め切ります。また、登録は本学学生を優先します。学生だけで教室の定員を超えた場合は、一般公開を行わない場合があります。

※ 申込み後、本学より受付完了の連絡がない場合は下記窓口までお問合せください。

※ **希望する科目について、追加・キャンセル・変更等が生じた場合は下記窓口までご連絡ください。**

【申込み期間】 前学期： **3月19日(水)～4月3日(木)**

後学期： **9月2日(月)～9月18日(木)**

【問合せ窓口】 琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課

〒903-213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 (大学本部棟 1階)

Tel : 098-895-8019 (平日8:30～17:15) Fax : 098-895-8185

## 【個人情報について】

公開授業申込み等で取得した個人情報については、本学の個人情報管理規則に基づき適切に管理し、公開授業の運営及び公開授業に関する情報の送付以外の目的には使用いたしません。



琉球大学  
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

大学側記入欄

| 受付日時 | 受付担当 | 備 考 |
|------|------|-----|
|      |      |     |





**UNIVERSITY  
OF THE RYUKYUS**

## 国立大学法人琉球大学 地域連携推進機構

〒沖縄県中頭郡西原町千原1番地

TEL: 098-895-8019 FAX: 098-895-8185

E-mail: [koukai@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:koukai@acs.u-ryukyu.ac.jp)

URL: <https://chiiki.skr.u-ryukyu.ac.jp/>

